

# かと舟

No. 53



六ヶ所村立 泊中学校

表紙題字

(昭和44年度教頭)

淵沢芳郎

## 卷頭言

# 新生 泊中

校長 田畠 信

旧校舎の閉舍や春休み中の引っ越しを経て、令和三年度「新生 泊中」がスタートしました。小中併置化という慣れない環境と新型コロナの影響で、様々な面で苦労と我慢を重ねた一年でした。しかし、気がつくと、長かったようであつという間の一年が終わろうとしています。

一年のスタートの入学式・始業式は、新型コロナの影響で、講堂には新入生とその保護者のみが入り、在校生は各教室でオンラインで参加という異例の形で行われました。併置化初の運動会や環境整備作業は小中合同で行われ、中学生が小学生や保護者の方々に力強さと頼もしさを見せることができました。

二年ぶりの開催となつた中体連夏季大会では、各部とも最後まで全力で戦い、県大会や東北大会出場者がいるなど、大活躍でした。

夏季休業中のビン回収には多くの生徒が参加し、地域に貢献する姿をアピールすることができました。

残念ながら中体連新人戦は新型コロナの感染拡大により中止となりましたが、新校舎での初めて

本校の努力目標である

の「泊中祭」は実施され、壁新聞、ちぎり絵、学級展示、合唱、イブントなど、様々な部門で各自が真剣に取り組み、学習の成果を発表することができました。また、今年度初めて実施した総合的な学習の時間の「Tタイム発表会」では、調べたり、体験したことを相手にわかりやすくまとめ、全校の発表する力を高めることができました。

日常生活の面では、本校独自の取組である「泊中サミット」や「弁当の日」などを通じ、健康でけじめのある「新生 泊中」の礎もつくられました。

こうして一年を振り返ると、様々な行事で成長できた姿が思い出されますが、行事以外でも「新生 泊中」をアピールすることができました。本校を長い間見守つてくださった教育委員会の方からは、皆さんの授業の様子を見て、「授業に向かう態度や雰囲気が素晴らしい」と、学習面においても高評価をいただきました。

ます。

私たちは、いつまでも皆さんを応援しています。

- ・自らの夢や希望を実現する強い意志をもつ
- ・人間関係をよく保ち安定した心をもつ
- ・心身を鍛え健康な体と精神をもつ

これからもこれらの目標を達成できるよう、一人一人が日々の努力を継続してほしいと思います。

# 一一〇一一一 新生 泊中

教頭 樹内一 将

一一〇一一に起きたこと。世の中の出来事編。

一〇目。東京オリンピック・パラリンピックが新型コロナウイルスの影響から、一年遅れで開催。

二〇目。新型コロナウイルスが相変わらず猛威を振い、教育活動にも多大なる影響（様々な行事に関して、中止・縮小が相次ぐ）があつたものの、ワクチン開発とその接種が進んだことで、徐々にこれまでの日常を取り戻し始めた。

一一〇一一に起きたこと。新生 泊中の出来事編。

一〇目。校舎の移転に尽きます。暗くてあちこちが破損している校舎。夏はとにかく暑く、冬は異常なほど寒い。水道に関する様々な問題（凍結、塩素強い等）。害虫との闘い（カメムシ、ゲジゲジ、ハエ等）。今となつては、その不便さが懐かしくさえ感じる旧校舎とお別れし、泊小学校へ。

エアコンと二重サッシが完備。どの活動場所も広々として明るい空間。引っ越し作業は、本当に大変だったけれども、それで手にした環境は、地獄が天国に変わったくらいの快適さでした。

二〇目。小中併置化による小学生と一緒に生活。ほかの学校では味わうことのない経験。私も初め

ての経験で、どんな雰囲気になるのか全くイメージできませんでした。しかし、時間を重ねていくうちに、気づいたことがあります。校内の雰囲気がとても明るくなりました。（きっと小学校の児童や先生方的には変わっていないのだと思いますが）生徒たちは、自分たちより小さい子を前にして甘えていられない、やさしい先輩でいようとう気持ちが働いていたのだと思います。先生方も、昨年以上に優しい言葉で生徒たちに語り掛けるようになつたように思います。小学生のみなさん、ありがとうございます。

二〇二一一新生 泊中。これまでとは違う方向に動き始めた一年だつたようになります。どんな変化を遂げるのかは分かりませんが、間違いなく、これまでとは違う方向に向かっていることは確かです。あとは、未来にどうなつていいかという明確な目標を掲げることで、方向性が実現に向けた取組が具体的になり、変化していくスピードもアップしていくと思います。

来年度からは新生ではなくなりますが、目指すべき未来の泊中に向けての取組は、まだまだ走り出しだばかりです。継続、改善・向上、チームワークを大切にして、みんなにうらやましがられるような、みんなの目標にされるような泊中になつてください。

何が原因かは定かではありませんが、私は、全校生徒の目指すべき姿に対する目線が、一齊に良い

方に向いたからではないかと思っています。これまで、ダメなことだとわかつていてもダメな方を選択する生徒が多かつたのですが、今年は、自分や仲間にストップをかける生徒が増えたようになります。いい意味での集団心理が働いていたようになります。

か二舟 No.53

目 次

|          |    |
|----------|----|
| 卷頭言      | 1  |
| 教育目標・校歌  | 4  |
| 生徒会活動    | 5  |
| 部活動の思い出  | 11 |
| 行事       | 22 |
| 入学式      | 23 |
| 三年生修学旅行  | 25 |
| 運動会      | 28 |
| 中体連      | 35 |
| ビン回収     | 37 |
| 泊中祭      | 39 |
| 職場体験     | 46 |
| 二年生修学旅行  | 48 |
| 学級紹介     | 50 |
| 先生方のよこがお | 56 |
| 栄光の記録    | 59 |
| 編集後記     |    |

# 教 育 目 標

強い意志と

安定した心をもち

自己実現を図る生徒

作詞 中野渡  
作曲 間宮昭生 黥

# 泊中学校校歌

一、朝日はのぼる 太平洋

西に貴宝の山そびえ

歴史はふりぬ 泊港

海山ともに 秀でたり

二、海も磯辺も 幸満ちて

拓かん無尽の大宝庫

あまたのいらか よりあいて

縁は深し 諏訪の森

# 努 力 目 標

一、自らの夢や希望を実現する 強い意志をもつ

一、人間関係を良く保ち 安定した心をもつ

一、心身を鍛え 健康な体と精神をもつ

三、大洋の心 山の意志

二つのしるし胸にして

学びの丘に うちつどい

努め励まん わが友よ

# 生徒会活動

令和3年度 生徒会スローガン

## 前進

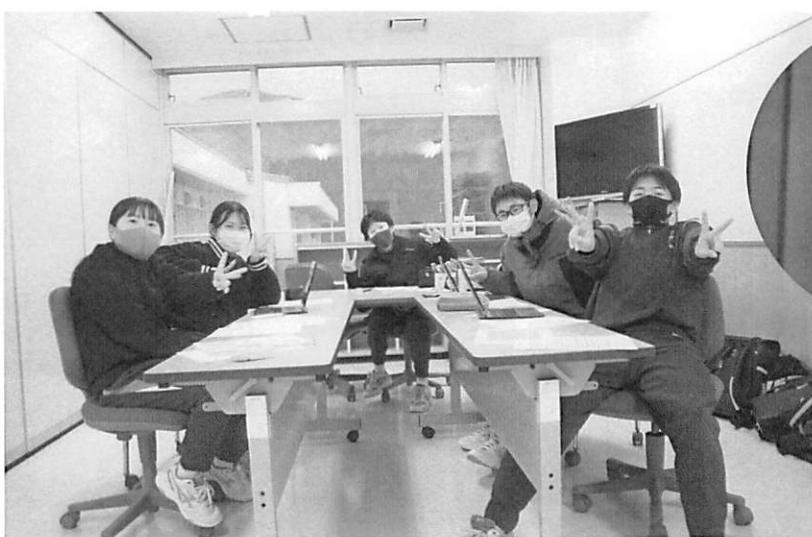
～誠実・謙虚～

生徒会長を一年間務めて

生徒会会长 三浦 悠杜

僕は今年度の活動を振り返って、生徒会執行部は、行事のたびに仕事があり、とても忙しい一年間だったと思います。ですが、一人一人しっかりと目標をもち活動できたので良かったと思います。

生徒会執行部では、行事や朝会の運営、ボランティア活動の計画、運営を行いました。どの活動にも積極的に取り組み、月間目標達成に努めることが出来ました。生徒会長として大変だったことは、月の行事を把握し、生徒朝会で行つてほしいことを発表することです。この活動を通して成長したと感じることは、全校生徒が朝会で発表したことを感じて行動できるようになり、泊中学校をよりよくすることが出来たことです。来年度は、今年以上により良い学校を作つていけるように、後輩にアドバイスをしていきたいです。



## 生活環境委員会

### 委員長として

能登 葵

一年間委員長を務めて大変だったことは、的確な指示を出すことです。どんな言葉を使つたらみんなに伝わるのかを瞬時に考え、伝えることが大変でした。委員会中は、みんなが意見を出しやすい雰囲気作りを頑張りました。

私が、委員会全体で成長したと感じたことは、意見が的確にでてくるようになったことです。いつも、誰が、どこでなど、言わなくとも当たり前のよう意見を出してくれるようになりました。

残りの期間は短いですが明るく楽しく、活動と話し合いの切り替えをして委員会を楽しみましょう！！

## 保健給食委員会

### 委員長として

水戸 洋平

僕が今まで委員長として取り組んできて感じたことは、二つあります。

一つ目は、委員長には責任があるということです。委員長は周りを見て指示を出して委員全体をまとめなければなりません。自分が中心となつて活動するため、気が抜けませんでした。

二つ目は仲間と協力することです。自分一人で委員会を作り上げてきたのではなく、仲間の支えがあつたからこそ今の委員会があると思いります。仲間には本当に感謝しています。

次の委員長には、今までやつてきたこと、そしてみんなを盛り上げることを大事にしてほしいと思います。委員長としての経験はこれからの生活に大きくかかわると思います。この経験を大事にして、この先にいかしていきたいと思いました。



## 環境委員会

### 環境委員会

中川莉瑚

私は一年間、環境委員会としてみんなが過ごしやすい学校づくりに努めきました。環境委員会は主に、昼休みの花壇整備や朝の廊下清掃を行いました。最初は慣れない学校での生活で、仕事をうまくできないことがありました。今はみんなで協力しながら、一人一人が自分の仕事に責任をもち、学校のよりよい環境づくりを頑張っています。

私が委員長になりたての頃は、自分の仕事でいっぱいいっぱいになつていて、後輩に指示を出したり、仕事を教えたりすることが難しく、大変なことばかりでした。しかし、今では委員長として委員会をまとめることができていると思います。この経験を生かして、高校に行つても協力し合い、活動していきたいです。

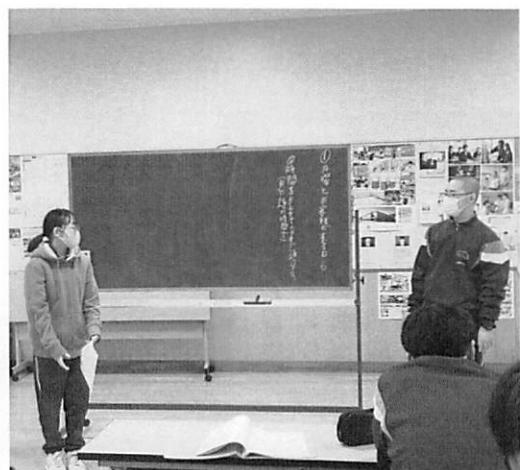
## 広報委員会

### 委員長として

山本鈴音

私は約一年間委員長を務めました。最初はすごく不安でしたが、去年とは異なる活動も行うことになりました。とてもよかったです。委員長として委員会のときに説明が上手くできないことが多く、頼りにならなかつたと思います。委員一人一人が意見を出して、委員会としての良かつた点、改善点を見い出し、目標に着々と向かっていくのを感じることができ嬉しかったです。今

広報委員会の主な仕事内容は、ポスター掲示や行事のアナウンス、広報誌作成などです。泊中生がよりよく生活を送るために、活動すべきこと、やってみたいことがある場合は次期委員長を中心に積極的に取り組んでほしいと思います。



# 図書委員会

## 一学年委員会

### 委員長を通して

### 学年委員長として頑張ったこと

浅井莉空

種市誠大

私が、委員長を通して思ったことは二つあります。一つ目は、委員全員を引っ張っていくことの大切さです。一年生、二年生のころから委員長を見てきて、私たち委員のことを引っ張っている姿、皆をまとめる姿、それを当たり前のようにやっている姿をかっこいいと思いました。自分がやつてみると、どれだけ難しく大変かを学ぶことができました。二つ目は、委員みんなの意見をしっかりとまとめることができよかつたということです。委員長になってから話をまとめる機会が増えてきて、どれだけ分かりやすく相手に伝えができるかが、求められました。たくさんの経験をいかして、自分にまとめる力がついたと思いました。この二つの考えたことをこれから的生活でもいかしていきたいと思います。

僕は学年委員長として過ごしてきたで、沢山のキヤンペーンなどをやってきました。その中でも一番大変だったのは挨拶運動です。いつもよりも早く学校に行くのがとても大変でした。でも、挨拶運動をしたおかげで挨拶の大切さを学びました。学年委員長になって僕が成長したと思うことは人前に出て発表出来るようになつたことです。他にも、人に指示する力や人をまとめる力も成長したと思います。委員長などは大変だから今まで避けていたけれど、学年委員長として頑張つてきたら、学年委員長になつてよかつたと今は思います。だから、大変そだからやめるのではなく、大変=自分を成長させると思っていろいろなことに挑戦したいと思いました。大変なことを避けてきた人も、ぜひチャレンジしてほしいです。



## 二学年委員会

### 一学年委員会

瀬川一樺

自分に自信をもち、堂々と！

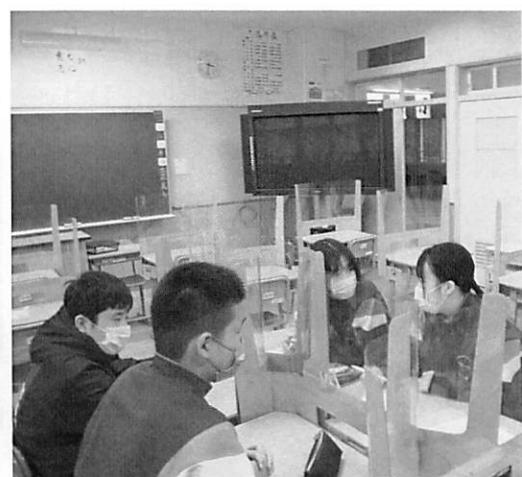
二学年委員が今年度の活動で特に力を入れたことは、中間の学年として、三年生をサポートし、一年生の手本となる行動をとることです。また、学級の課題であつた忘れ物をなくすこと、授業に意欲的に参加し、成績アップを目指すことを狙つたキャンペーンを行うことができたことです。その他にも運動会の準備や、文化祭のイベントの運営などで自主的に行動することができました。その中で、一学年委員会と三学年委員会と一緒に活動したので、後輩にはわからないところを教え、先輩方の仕事を見て来年は自分たちがやるんだと思つて仕事をしていました。

成長したところは、話し合いの中の発言が多くなったところです。最初の頃は、梅原先生に助けてもらわないとたくさん意見が出てきませんでしたが、今では、自分たちの意見がたくさん出され、それらをもとに企画していくため、委員会が楽しくなりました。来年も最上級生として手本となる行動を示し、頑張つていこうと思います。

## 三学年委員会

古畑友来

私がこの一年間で大変だったことは、学校行事です。運動会では、各種目の誘導、競技開始・終了のあいさつを行いました。また、文化祭では、イベントの司会を行いました。どちらにしてもミスをあまりしないように何度も練習し、成功させることができました。私が委員長をして成長したと思うことは、二つあります。一つ目は、きちんと話を聞き、的確な指示を出せるようになつたことです。私はもともと人に指示を出すことが苦手で、自分でほとんど委員会などをやつてしまつていたからです。二つ目は、堂々とすることです。中央委員会などでは、自分の意見をしつかりもつて堂々と自分の意見を発言できるようになりました。三年かけてやつと立派な委員長になる事ができたかなと思います。自分にできそうなことに挑戦することが大切だなと思いました。





# 部活動の思い出



# 野球部

## 野球部部長として

野球部部長 成田 悠 楓



一年を振り返って、部活動のことを思い出してみると、先生方も合わせて三人でしたが、どの部活動にも負けないくらい楽しく全力で行なうことができたと思います。部活動を通して学んだことは、どんな人にも元気よくあいさつをすることがまりも自分自身もテンションを上げるきっかけになること、返事をすることの大切さ、チーム内で会話をする大切さです。そして、部活動をして一番感動したことは、いつも負けていたチームに勝ったことです。一回も勝ったことがなかつたですが、しっかりと練習を重ねて弱点を克服し、勝利したとき、本当に感動しました。

これまで私一人で本当に先生方にお世話になりました。本気でやるときはやる、楽しむときは楽しむというメリハリを教えていただき、野球に集中できたことに感謝の気持ちでいっぱいです。私は、高校に行っても野球を続けます。今後も応援よろしくお願ひします。



# 1勝の価値

## 有終の美

野球部顧問 梅原毅

野球部顧問 平館祐一

中体連での想い出。それは、優勝候補といわれたチームに雪辱を果たしたことだ。

昨年の中体連新人戦以降、部員は悠楓くん一人となつており、平日は、顧問とのキャッチボールやトスバッティングなどの基礎的な練習などに限られていた。週末の合同チームでの練習が、シフトを確認したり、連携を図つたりすることができた唯一の時間であった。ただ、毎日の練習は、基礎の積み重ねではあったが、他の部員の多い学校に比べて、球に触れる時間が絶対的に多かつたこと、どんな練習にもポジティブに捉えて日々と向かう姿勢が、確実に彼の成長や自信に繋がったことは事実である。また、合同チームでも、ムードメーカーとして、そして、外野の要として人一倍大きな声を出して仲間を励ます声を今も覚えている。

そして、あの時の「1勝」は、忘れられない想い出とし、私の心に残っている。

伝統ある泊中学校野球部の最後の年。一人きりの部員である成田悠楓主将と顧問の梅原先生のキャッチボールから部活動はおこなわれた。来る日も来る日もその二人によるキャッチボールと。ピッチング練習、マシンを出してのバッティング練習。肩が死んでいてキャッチボールの相手すらできない

私は、マシンを出すときの用具だしとバッティング練習時の球拾い係しかできなかつたが、二人の練習の熱気を浴びせられ、いつしか声掛けの声も大きくなつていて覚えている。

主将の悠楓の野球に対する真剣さ、向上心、そ

して何より競技を愛する心が、一人部員の部活動をこんなにも熱く感じさせてくれたのだと思う。

なかなか試合に勝つことは難しかつたが、それでも、一球一球にくらいしていく姿は素晴らしい。本当に疲れさまでした。

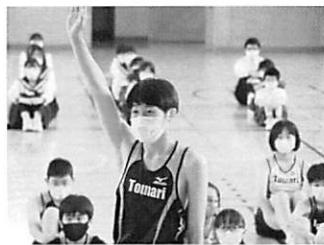


# 陸上競技部

部長をやつて

陸上競技部部長 館 瘣 織

僕が部長の仕事を通して学んだことは、仲間と協力する大切さです。部活で使うものの準備や、片付けをするときは一人ではなく仲間と一緒にすること、絆を深めることができました。そして、部活動を通して成長できたことは、一年生のときと比べて自分から動くということが増えてきたことです。一年生の時は、先生や先輩などから言われてから動くことが多かつたのですが、三年生になつてからは、自ら進んで行動すること多くなりました。顧問の先生や家族には、三年間支えてくれたこと、自分を成長させてくれたことにとっても感謝しています。



泊小に引っ越しをしてきて、待ちに待つた新ターナントラック（別名 松橋スタジアム）との対面。

想像以上に立派で今でも圧倒されることを覚えている。こんなにも充実した設備の中で練習ができることに、本当に六ヶ所村に感謝している。また、恵まれた環境の中で練習しているからこそ、結果を残さなければというプレッシャーも覚えている。そんな中、陸上競技部は見事に期待に応えたと思

う。夏の中体連では、男子総合三位。県大会にも多数出場し、中でも数年ぶりにリレー競技も出場できた。さらに、東北大会にも三名出場し、入賞もすることができた。今年も泊中陸上競技部の底力を感じられた一年になった。

来年度は、より一層、今よりも一段階上の競技力も人間力もある選手を目指してほしいと思う。

そのためにも、「陸上を通して人として大事なことを学んで身につけてほしいと思う。それは、「人に会つたら挨拶をする」「時間を守る」「保護者、関係者への感謝の気持ち」である。一、二年男子リレーメンバーが掲げた「歴代泊中最速タイム更新」を実現するためにも、当たり前を当たり前にでき、誰からも応援される部活と一緒に作り上げていこう。

泊中学校に赴任し、陸上競技部の顧問となり、四月の練習から泊中生のポテンシャルの高さに驚いた。新しいメニューの説明が松橋先生からされ、さあ、やつてみようとみんなの番になると、すぐに手本に近い形でできた生徒が多くた。また、大会の度に記録を伸ばしていく生徒も多く、底力を感じた。

私はいつも部活の生徒に「将来陸上選手になりたいか」と聞くが、多くの生徒は「ノー」と答える。「であれば尚更、あいさつ、逆境に打ち勝つ心、上下関係など、陸上以外のことの大切にしよう」と伝えてきた。

泊中陸上部は他者から学ぼうという意識が高い。また、短い時間でも目標達成のために頑張ろうとする底力がある。これら部活で学んだことを生かせる場面が未来にはたくさんあるのでつらくなつたら部活のことをちょっとと思い出してみよう！」年間ありがとう。

新校舎に移動した今年度は、立派な施設を整備してもらい、おしゃべりな二年生と、愉快な一年生と、そんな後輩をまとめる少し頼もしくなった三年生と練習を積み重ねた。コロナ禍での開催で、何かと制約はあつたが、最初で最後となる全学年参加の夏季大会が行われたことは本当に良かった。

結果はともかくとして、みんなで時間や思い出を共有する、様々な感情を分かち合うことは、人生において大事な財産だと私は思っている。その財産は前に進む原動力となる。この先、何かにつまずいたとき、思い出してほしい。みんなで乗り越えたこの『財産』を。

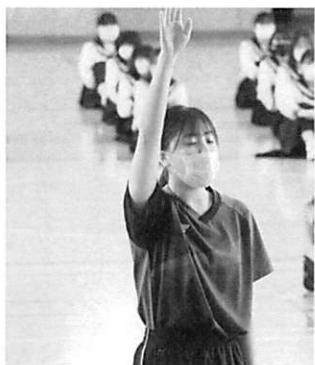
# 卓球部

部長として

卓球部部長 三國海藍



私が今年一年を振り返り、まず良かった点は、部長として、部員をしっかりと引っ張れたことです。特に中体連前は最後の大会になるかもしれないのでも、自分の練習も頑張りつつ、一、二年の部員が一人でも多く良い結果を残せるように、卓球の指導だけでなく、あいさつや返事などにも力を入れて取り組んできました。次に、もう少し頑張りたかった点は、全員が一日一日の練習に真剣に取り組むことです。全体としてみると良い部活動になつたと思いますが、個人で見ると、指示がうまく通つていなくて何をすればよいかわからなかつたりした人がいた時がありました。男子部員がほとんどだったので、まとめるのに苦労する場面もありました。ですが、副部長と協力して部活をすることができました。いろいろな人に支えていただき部活動ができていたと思うので、感謝したいです。ありがとうございました。



## 田的 地を定めよ

## よい変化に期待

## 感謝

卓球部顧問 三 上 一 幸

卓球部顧問 佐 藤 章 子

卓球部顧問 武 久 雄 哉

まず、三年生の諸君。中学校の部活おつかれさま。君たちには感謝しかない。卓球初心者の私にとって、何から今まで君たちに頼ることになってしまった。しかも三年生は女子一人のみである。それで、一、二年の男子十二名の輩をまとめたのでたいしたものである。専門的な時間は限られたとは思うが、これはこれで、長い人生にとつては良い経験になつたと思う。恵まれた環境のことを考えればきりがない。もつと不遇な人だつている。大事なのは自分がどうふるまうかである。君たちには環境に屈せず、周りのせいにせず、逆に環境を変えてしまうくらいの力があると思う。新たな環境でも輝くことを願つていい。

さて、卓球部全体に対して。卓球という競技は、個の究極だと思う。一対一の戦い、ラケットのラバーの種類は幾通りもあり、戦術は無限にあるようと思える。泊中卓球部に限つては、小学校から続いている人も中学校から始める人も、夜、クラブや、スポ少で活動している人もいる。明らかな実力差を感じる時もある。そんな中では、今の自分を見失いそうになりやすい競技だと思う。だからこそ自分だけの目標をたてることが大事だ。人と比べるのではなく、今の自分を超えるだけの目標だ。それを達成できれば、最高である。一生懸命頑張ったと思う。そうやって、何かに向かう力が受検や将来に役立つはずである。

春、卓球部の活動を見たとき、三年生の圧倒的な卓球の強さと、チームをまとめる力が印象的で、また、そこから始まつた卓球部顧問としての日々。

新チームとなり、変化したことは、「集合」の声に反応し、走つて集まるようになったこと、指示を大きな声で出せるようになったこと、練習中に体育館に入つて来た人に挨拶ができるようになったことだと思います。そして、その変化が、

次の変化を生んでいます。それは、準備や片付けのときに、周囲を見て、仲間に声をかけたり、手伝つたりしようという意識が行動に表れ始めたことです。一つ一つの小さな変化は、積み重なると大きな変化になります。三年生からバトンを受け継いで半年が経ち、二年生にとつて、一年生にバトンを渡すまで、同じく半年となりました。君たちを慕い、一緒に卓球の技術を磨こうと目を輝かせる後輩たちがいます。君たちなら、まだまだ良い変化を生み出せると期待しています。

着任初日、三年生である海藍と望愛が真っ先に声をかけてくれ、親切に部員の紹介をしてくれた。そして、そこから始まつた卓球部顧問としての日々。

年間目標は、「みんなで楽しく正しく練習をし、一人でも多く県大会に出場する。」に決まった。県大会出場者は三年生一人にとどまつたが、みんなで楽しく正しく練習は、まさしくその言葉どおりの毎日であつた。卓球の個の強さはもちろんのこと、後輩に優しく指導し、育成に努めて部を牽引する海藍。いつも明るく部の雰囲気を和ませ、部員が活動しやすい環境づくりをする望愛。この二人がいてくれたからこそ、今の卓球部があると感じる。二人は、卓球のいろはも分からぬ私にたくさんの知識だけでなく、卓球の面白さを教えてくれた。私は、そんな二人を筆頭に、愉快で元氣あふれる一・二年生がいる卓球部が、笑いが絶えず、居心地よくて、本当に好きだ!今年一年間は、みんなから楽しい思い出をもらつてばかりだったので、この場を借りて感謝を述べたい。一年間本当にありがとうございました!

# 女子バレーボール部

## バレー部部長として

女子バレー部部長 中 村 彩 愛

私たちバレー部は、常に笑顔で明るく雰囲気の良いチームでした。部長を通して感じたことは、沢山の人に支えられているということです。公式戦の時など、緊張していく周りを見られていないときに支えてくれた仲間、一生懸命ついてきてくれた後輩、辛い時に優しい言葉をかけてくれた家族、そして、どんな状況でも的確な指示を出し、全力で指導してくれた小沢先生、本当に沢山の人に支えられたから部長として続けられたと思います。最後の公式戦、三沢第一中学校に一セツとれたのも、沢山の人のおかげだと思います。陰で支えてくれた皆さん本当に有難うございました。



## バレー部で良かつた？

## 好きこそ物の上手なれ

女子バレー部顧問 小沢拓也

女子バレー部顧問 高橋清華

この言葉を君たちに送りたい。三年生の皆さん、バレーボール部での生活はどうでしたか？充実させられましたか？

今年のバレー部は、周りからうらやましがられるくらい魅力的な部活動を目指していました。それは部活動を楽しむことや、充実させること、失敗や成功を経て成長することによってです。

君たちは、そんな理想的な姿を良く表現してくれました。だからこそ、小中の先生や保護者が、あれだけ練習を手伝ってくれたのだと思います。だからこそ、三沢一中からとつたあの一セット、めちゃくちや気持ちよかつたな。

中体連、たとえどんな結果で終わっていたとしても、同じ言葉を送っていたでしょう。「君たちは本当に素晴らしいチームだった。楽しい部活動をありがとうございました。」

『練習はウソをつかないと思うし、自分がやつてきたことは、絶対に裏切らない。』泊中バレー部

部を、これからも応援しています！

コロナ禍で活動が制限されることもありました  
が、バレー部をしている時のみなさんの姿は、  
とても輝いていました。ボールを最後まであきら  
めずに追い、声を出して仲間を応援し、自ら考  
えて行動できる部員もいて、とても良いチームだな  
というのが第一印象です。三年生から受け継いだ  
ものを、自分たち色に染め上げ、さらに素敵なチー  
ムをつくってください。大好きなバレー部を、

今の仲間たちと出来る時間は、限られています。  
その中で、後悔のない、やりきった！と言える試  
合が一試合でも多くなるよう、頑っています。

最後にみんなに、竹下佳江選手の言葉を送り  
ます。



# 吹奏楽部

部長を終えて…

吹奏楽部部長 石倉あかね

吹奏楽部顧問 浦田信子

18人の演者たちへ



私はこの一年間、吹奏楽部部長として活動してきてたくさんのこと学びました。

一年生のときから「吹奏楽は心を一つにしないと良い演奏ができない。」ということは分かっていました。今年から部長として活動して、心を一つにするためには自分が部員をまとめなければならぬと実感しました。しかし、正直それができていたかと言わるとよくわかりません。でも七月に行われたコンクールでは、私が活動してきた三年間で一番良い演奏ができたと思っています。これは一、二年生が私たちについてきてくれて支えてくれたからです。本当に感謝しています。

最後に、私は吹奏楽部の後輩に伝えたいことがあります。それは部長や委員長など、リーダーに挑戦してほしいということです。リーダーを経験するとその人にしか得られないものがあると思うし、これから何をするにもこの経験が役に立つと実感したからです。これからも吹奏楽部を全員で盛り上げていってください。

三年生、入部当時から大人數で存在感があります。周りに動じることなく振る舞う姿に先輩の方が気を使っていました。楽しむことが大好き、演奏も送る会も全力で取り組んでくれました。まあ、気になる点としてはお話し好きな所かな・・・。3年間大変頑張りました。写真を見ながら、楽しかったなあ〜なんてしみじみしています。皆さんこのからの活躍にも期待していますよ！

今年度は、2つのコンクールが開催され無事に出場でき、みんなの努力が報われる機会があり本当に良かった。部員数18人が、同じ目標に向かい切磋琢磨できることは、今後の糧になるだろう。残念なのは中体連や地域のお祭りに貢献できなかつたこと。大変ながらも、応援できる楽しさや地域の人々に聴いてもらう機会が少なかったのは本当に残念でした。来年こそは、コロナが落ち着き演奏できることを願う。

一年生4名入部してくれてありがとうございます。先輩の指導の下少しずつ成長し、アンコンでは異なる楽器に挑戦し大きく成長しました。

二年生、新メンバーも加わりアンコンでは先輩らしく一年生を引っ張ってくれました。

成長したねえ。

三年生、入部当時から大人數で存在感があります。

した。周りに動じることなく振る舞う姿に先輩の方

が気を使っていました。楽しむことが大好き、

演奏も送る会も全力で取り組んでくれました。ま

あ、気になる点としてはお話し好きな所かな・・・。

3年間大変頑張りました。写真を見ながら、樂し

かったなあ〜なんてしみじみしています。皆さん

のこのからの活躍にも期待していますよ！

## 全てに感謝して・・・

## 共に過ごせた日々に感謝

## 吹奏楽部の思い出

吹奏楽部顧問 松山美鈴

吹奏楽部顧問 間千春

吹奏楽部顧問 中居剛

今年度、吹奏楽コンクール中央地区大会とアンサンブルコンテスト上北地区大会の二つの大会に出席することができた。特に吹奏楽コンクールでは、三年生にとっては最後の一・二年生にとっては初めての大きな舞台での演奏。とても緊張したと思うが、昨年演奏できなかつた分の思いも込めた、最高の演奏だつたと思う。

今年度、各大会に参加することができたのも、大会運営をしてくださる先生方や楽器運搬などで手伝つてくださつた保護者の方々、また、体調管理に気を配り、陰で支えてくれた家族のおかげだと思う。何事にも支えてくださる方々がいることを忘れず、何事にも感謝して、これからも生活してほしい。自分一人ではできることは限られている。周りの支えがあつてこそ、できことがある。できて当たり前、やつてくれて当たり前という考え方ではなく、感謝できる人であり続けてほしいと願つてゐる。



義務教育が終わり、それぞれ選んだ道に進む皆さん、ご卒業おめでとうございます。

昨年に続き、世界中がコロナ過という厳しい毎日を過ごす事となりましたね。予定していた行事もできず練習も思うようにできない、そんな我慢の毎日でしたが、共に練習できたことは私にとって心の中の一生の宝物です。今しかできないことを体験できたのだから。

コンクールでは、本番直前のステージ袖で待機しながら胸の高鳴りと高揚感。その場にいる人のみが味わうことのできる躍動感。何より身体の奥底からじわじわくる緊張感。そして本番、大ホールで堂々と演奏する姿には感極まりました。数ある行事の中でコンクールに出演できることに感謝ですね。

あなたが一生懸命奏でる音は  
リズムの一つ一つに意味をもち  
がつそうするたび上達し  
とても楽しく微笑む姿は  
うれしくもある。

義務教育という長い年月を、共に過ごす事ができた事に感謝します。本当に楽しい時間をありがとうございました。大人になつて出逢える日を楽しみにしていますね。



三年生の皆さん、まずは卒業おめでとうございます。部員が最も多い学年でしたね。

主担当ではありませんが私が吹奏楽部に携わるのはこれが初めてで、年度の初めに考へた私の役目は「楽器運搬」「楽器以外の修理」かなと思いました。もちろん、練習の場にいることもあります。が何もアドバイスができなくて申し訳なかったです。その分、浦田先生や間先生、松山先生が専門的に教えてくれるので、合奏の場面でどんどん上手になっていくのが素人の私でもわかりました。

青森市で行われた中央地区大会では、私も緊張しました。皆さん

本番の演奏を舞台袖で聞いていた私は、演奏が終わつた瞬間とても達成感がありました。今まで一番素晴らしい演奏に聞こえたからです。修理や運搬だけでしたが、泊中学校吹奏樂部のみんなと、目標を共にできたことをうれしく思います。

# 行 事



# 入 学 式

## 入学式

吉 田 美 月

泊中学校の入学式では、上の学年がリモート参加したり、小学校と校舎が同じだつたりと、初めてのことがたくさんありました。当日、予想していたのと違う席の近さがあつて、少し悩んだけれど無事できてとてもよかったです。「誓いの言葉」を言うときに、たくさんの人の前で発表したので、このことを生かして、発表を積極的に行ってみたいです。中学校では、自分で決めたことをしっかりとやり遂げるということを頑張りたいです。中途半端になってしまつたことがあったので、中学校になつたら、最後までやり遂げたいです。最後に、中学校では勉強の難しさが数段アップすると思いますが、予習、復習を欠かさずしっかりと頑張っていきたいです。



## 入学式

谷 綺 恋

僕は、入学式の二日前までは、卒業式と違つてあまり緊張しないと思つていました。だけど、入学式の前日になると、とても不安になつていき、部活や勉強、そして帰る時間など、たくさんのことが不安になりました。入学式当日も、とても不安になりながら、学校に行きました。学校に行き、友達といふと、いつの間にか緊張は少しほぐれていたことに気づきました。そして、最後は失敗もせず、成功させることができました。

中学校生活が始まると、部活も増えるのでたくさん練習し、頑張りたいです。勉強もとても難しい問題ばかりになるので、みんなについていけるよう頑張りたいです。中学校生活は三年間なので、僕は、その三年間を無駄にせず、楽しんで、いい思い出を作れるように頑張ります。



## 中学校の一一番

赤 石 凪

「一番だ！」頑張らないと！

ここから始まつた中学校の入学式。今年は、卒業式と入学式がとても短く、校舎が変わらなかつたので、そこまで「卒業した！！」という実感がありませんでしたが、入学式を行つて、中学生になつたという実感が少しもでました。

今後、僕が頑張りたいことは、物の管理です。僕は、授業が始まつたときに、忘れ物をしてしまつていたので、気をつけて中学校生活を送つていきたいです。

今年は、コロナの影響で短縮となりましたが、負けずに楽しみつつ、頑張つていきましょう。そして、僕も、自分のできる限り、自分の目標に向かって進み続けて、いつか目標を達成させて、今の三年生や二年生以上の中学生を目指して、頑張つていきたいです。今は100メートルのタイムを縮めることに専念していきたいです。

# 三年生修学旅行

## 修学旅行の思い出

吉田隼斗

僕の修学旅行の思い出は、五つあります。

一つ目は、「えさし藤原の郷」に行つて弓体験をしたことです。弓体験では上手く放つことが難しくて何度も飛距離が伸びず、落ち込んでしまいました。二つ目は宿泊場所で四人で談笑したことです。三つ目は、わんこそばを五十八杯食べたことです。わんこそばは意外に早く盛られるので食べるのに時間がかかってしまいました。四

つ目は、舟下り体験です。舟下り体験では、鴨や鹿などが見ることができました。また、運玉投げもしました。小さい穴に投げ込むと運気が上がるというので挑戦してみましたが、一個も入りませんでした。五つ目は、ペンションに宿泊したことです。ペンションに宿泊したことがあります。ペンションでは、BBQをやつたり温泉に入つたりしてとても楽しかった思い出があります。今度は大人になってからもう一度、岩手県に行つてみたいと思います。



## 修学旅行！！！

橋本鳳飛

私の修学旅行の一番の思い出は、猊鼻渓の舟下りです。天候にも恵まれ、猊鼻渓の素晴らしい景色を見る事ができました。他にも一日目の夜のペンションも思い出に残っています。BBQをしてマシュマロを焼き、いろんな意味で大炎上したことでも思い出です。

このご時世で、修学旅行は近場になつてしましましたが、とても楽しく、最高の思い出をまた一つ刻むことができました。

そして、改めて集団行動で協力する大切さを実感しました。大変な中、企画してくださりありがとうございました。

修学旅行で学んだことを糧に、学校生活も一日一日を無駄にせず、楽しみたいと思います。三年生皆で修学旅行に行けてよかったです。本当に、ありがとうございました。



## 修学旅行を振り返って

佐藤克哉

僕は、修学旅行を通して、学んだ事と思い出が一つずつあります。

一つ目は、集団行動の難しさです。旅行先では、時間を厳守しないといけなかつたので、班員がそろつて行動や集合するのはどうでも難しかつたです。

二つ目は、猊鼻渓での舟下りです。舟下りの時期が早く、川にはあまり生き物がいなかつたです。しかし、船頭の方がダジャラで盛り上げてくれました。

これから学校生活では、しつかりオンとオフの切り替えをしていきたいと思います。



## 修学旅行を終えて

上野 奏汰



僕が修学旅行を通して学び感じたことは、感謝です。それはたくさんの方々の支えがあつての修学旅行だと思うので、保護者や関係者、先生方に感謝しかないです。だからこそ一番学んだことは、自分だけではなく、支えてくださる方々に「感謝」を忘れてはならないということです。他に感じたことは、みんなとて楽しいということです。特にバスの移動時やベンションにいるときなどが楽しかつたです。

ベンションでは夜入浴後に外にあるハンモックに乗つて夜空を見たり、みんなで集まって遊んだりしました。コロナウイルス予防対策をしながらも、みんなと修学旅行に行けて本当に良かったです。

## 修学旅行を振り返って

赤石 莉杏



今回の修学旅行は、三年A組の仲間と共に過ごすことの楽しさを改めて感じることができた旅でした。舟下り中、舟に近づいてきたカモにみんなで餌やりをしたことや、みんなで歌を歌つたこと、ベンションでバーベキューをしたこと、仲間と一緒に楽しんだことは、どれも私の中でとても良い思い出になりました。それとともに、集団で行動することの難しさを知りました。私たちの学年は人数が多いため、移動する際に時間がかかつたり、集合時間に間に合わなかつたりしてしまいました。

修学旅行では、ためになるお話をしてくれ、ださったおかげで、自分の成長に役立つ知識を身につけることが出来ました。修学旅行を終えて私は、今後の学校生活でも、時間を守り、自分の進路実現に向けて、ひたむきに努力を重ねていこうと思いました。



修学旅行を振り返り、私が一番思い出に残ったことは、猊鼻渓での舟下り体験です。初めての舟下り体験でしたが、とても楽しく、一番印象に残る思い出になりました。修学旅行に行く前は、コロナウイルスの影響で修学旅行をしつかり満喫出来るか不安でしたが、先生方が私たちのために計画してくれたプランのおかげでとても楽しく過ごすことが出来ました。修学旅行では、時間を守る大切さを学ぶことが出来ました。また、ベンションでの大滝さんの進路講話会では、た

## 修学旅行を終えて

滝口菜花

修学旅行を振り返り、私が一番思い出に残ったことは、猊鼻渓での舟下り体験です。初めての舟下り体験でしたが、とても楽しく、一番印象に残る思い出になりました。

修学旅行を行く前は、コロナウイルスの影響で修学旅行をしつかり満喫出来るか不安でしたが、先生方が私たちのために計画してくれたプランのおかげでとても楽しく過ごすことが出来ました。修学旅行では、時間の守る大切さを学ぶことが出来ました。また、ベンションでの大滝さんの進路講話会では、ためになるお話をしてくれ、ださったおかげで、自分の成長に役立つ知識を身につけることが出来ました。修学旅行を終えて私は、今後の学校生活でも、時間を守り、自分の進路実現に向けて、ひたむきに努力を重ねていこうと思いました。

## 修学旅行を振り返って

能登 友暉

僕は、修学旅行に行つて二つのことを学びました。

一つ目は、班で行動や見学をする上で時間に気をつけなければいけないことです。班での行動時や見学時に時計を見ていいと時間が過ぎてしまつてみんなに迷惑をかけてしまうので、班で行動をするときは、時間に気をつけようとと思いました。

二つ目は、勝手な行動をしないことです。観光地には自分たち以外にも観光客がいるし、勝手な行動は班の人にも迷惑になるので気をつけようと思い

ました。



## 修学旅行で学んだこと

野田麗華

私が修学旅行で学んだことは二つあります。

一つ目は岩手の自然についてです。バスでの景色や泊では見ることが出来ない光景を見ることができました。また、岩手は空気が澄んでいて清潔感があり、とても気持ちよかったです。そして

「えさし藤原の郷」や「金色堂」などの歴史のある建物を実際にこの目で見ることもできました。

二つ目は公衆道徳です。普段と異なる生活のきまりを守ることの大切さを学びました。私はこの修学旅行でこの二つを学びました。ケガをすることもなく、コロナにかかることもなく旅をすることができてよかったです」というのが一番の感想です。今後の学校生活にこの修学旅行で身についた公衆道徳を意識して後輩を引っ張つていこうと思いま



# 運動会

スローガン

か よう ねん か

# 花様年華

## プログラム

| No | 対象    | 種別  | 種目                  | 敵  | スタート ゴール |
|----|-------|-----|---------------------|----|----------|
|    |       | 全員  | 入場行進                | 1  |          |
|    |       |     | 開会式                 |    |          |
| 1  | 全校    | 団体  | ラジオ体操               | 1  | フィールド    |
| 2  | 小5年   | 徒競走 | 100m                | 5  | A D      |
| 3  | 小3年   |     | 100m                | 4  |          |
| 4  | 小1年   |     | 80m                 | 2  | B D      |
| 5  | 1年女子  |     | 100m                | 2  | E D      |
| 6  | 2年女子  |     |                     | 3  |          |
| 7  | 3年女子  |     |                     | 5  |          |
| 8  | 1年男子  |     |                     | 4  |          |
| 9  | 2年男子  |     |                     | 3  |          |
| 10 | 3年男子  |     |                     | 4  |          |
| 11 | 小2年   | 徒競走 | 80m                 | 3  | B D      |
| 12 | 小4年   |     | 100m                | 4  | A D      |
| 13 | 小6年   |     | 100m                | 6  |          |
| 14 | 中学    | 選抜  | ブロック対抗競技『台風の目』      | 1  | G G      |
| 15 | 小低学年  | 技能走 | きせつをエンジョイ♪泊っ子       | 5  | B D      |
| 16 | 小中学年  | 技能走 | なりきれ!! どうぶつの森       | 8  |          |
| 17 | 小高学年  | 技能走 | TOMARI ミッションインポッシブル | 11 |          |
| 18 | 中学    | 団体  | 応援合戦                | 2  | フィールド    |
| 19 | 小1~3年 | 選抜  | 紅白対抗リレー             | 1  | E C      |
| 20 | 小4~6年 | 選抜  |                     | 1  | C D      |
| 21 | 中学    | 選抜  |                     | 1  | C D      |
|    | 全員    |     | 閉会式                 | 1  |          |

# 自分の成長につなげた運動会

## 運動会を通して

白組組長 水戸洋平

赤組組長 成田悠楓

今回の運動会では、組長をすることになりました。これから頑張つていくぞと思いましたが、実際は不安だらけでした。

応援練習が始まり、振りを教えていましたが、短い期間の中で動きを覚えてもらうことに、とてもプレッシャーを感じていました。しかし、自分が思うより、みんなが協力してくれてすべての種目が悔いの残らない結果になりました。自分が学んだことは、リーダーという立場についてです。自分がみんなを引っ張つていかないとどんどん遅れていきます。そのために自分だけで抱えこみますに、幹部や先生方の力を借りながら、リーダーとしての行動をこの運動会で学ぶことができました。

今年は白組が勝つことができました。二年生の皆さんには自分から組長に立候補してもらい、白組連覇を目指してほしいです。



来年は二年生が主役となるので解散式にも言った「少し焦る」ことを意識して今年よりも良い運動会にしてほしいと思います。

僕は運動会を通して学んだことが二つあります。一つ目は、周りを見て、指示を出すことです。全体会が何をしなければならないのか、やる気を引き出すために周りを見ることを心掛けました。二つ目は、しつかりと計画を立てることです。適当に立てていると自分が思っていたのと違う進度になり、後々練習が大変になるからです。そして、僕の運動会の目標は勝つことと他の学年と仲良くなることでした。これを達成でき、運動会が終わってからも、他学年の人とたくさん話す機会が増えました。



## 泊中運動会

橋本鳳飛



私は、中学校生活最後の運動会を通して、感じたことがあります。それは、三年生幹部のひたむきに頑張る姿です。三年生として、課題がたくさんあつた中、一、二年を最後まで引っ張っていく责任感ある姿に感動しました。

そして、このようなご

時世の中での短縮された運動会になりましたが、日々、各組で積み重ねてきた努力で最高の運動会

にすることができました。

きっと三年生のみんなも

最高の思い出を記録と記憶に残すことができたと

思います。

小中合同の初めての運動会を終え、私たちが卒業した後も、新たな泊中運動会をつくっていってください。運動会おつかれ様でした！！！

僕は最後の運動会を三年生を中心に一、二年生、先生方の助けもありながら成功させることができました。また、運動会を通して三つのことを学びました。一つ目は、教えることの難しさです。副組長として、組長を助けながら、一、二年生との練習で効率よく練習させられなかつたからです。もつと効率よく練習できていれば他の種目の練習もできていたと思うのでやはり教える立場は難しいなと思いました。二つ目は、応援内容を考えることです。決められた時間内に終わらせられるようを考えることがとても難しかつたです。三つ目は、自分たちの力ではありませんが幹部を中心として三年生全員で運動会を成功させることができたのは、とてもうれしかつたです。最後の運動会を最高に楽しむことが出来ました。

## 最後の運動会を終えて

古泊悠季



僕は、この運動会を通して気づいたことと、これから気をつけていきたいことがあります。

一つ目は、自分自身が成長していることに気づきました。ブロック練習等を通して、幹部として皆に指示を出すことができ、リーダー性が成長したと思います。

二つ目は、計画的に行動することです。運動会準備期間中に幹部や委員会の仕事をして

いるうちに、計画的に行動することがどのくらい大切なのがわかりました。

これらのことを踏まえ、これから僕は、テスト勉強をするときは計画的に行い、良いところは継続して、生活したいと思いました。



## 運動会を終えて

佐藤克哉

## 運動会を振り返って

石倉あかね

私は運動会を振り返って、中学生最後の運動会を良い形で終わることができて本当に嬉しかったです。私は幹部としてではなく、学年委員会として仕事をしてきました。三学年委員は誘導係でしたが、この仕事では、誰かに詳しく、より丁寧にわかりやすく競技の説明をしなくてはなりませんでした。この仕事を終えた今、先生たちや幹部の人たちの大変さを実感しました。

集団の先頭をきつて引っ張っていく人はとても必要な存在なんだと思いました。これから私たちが行う行事には「最後」とつきます。最後まで三年生という意識をもち、中学校だけでなく小学校の人たちのお手本となり、松橋先生がいう「さすが三年生」と言われるような行動をしていきたいなと思いました。



## 運動会を振り返って

村畠皓大

僕が、運動会で学んだことは素早く行動することや先生の話をよく聞くことです。理由は素早く移動しないと同じ組の人には迷惑がかかり時間が無駄になってしまいますからです。また、先生方の話を聞かないと改善した方がよい点などがわからず自分たちの動きの改善などをできなくなるからです。次に、頑張ったことは応援の動きと声を大きくしたことです。理由は、声と動きを最初はあまり大きくできず、動きができる意味がなくなってしまって応援のバランスが悪くなり、片方に片寄つてしまつたからです。僕たちが行う行事は全てが中学校最後になるので、これからの思い出も大事にしたいかったです。



## 運動会を終えて

中川莉瑚

私が最後の運動会を終えて感じたことは、みんなを引っ張ることの大変さです。運動会のブロック練習が始まつて間もない頃、先生が「ボスとリーダーの違い」について私たちに話してくれたことがあります。その中の「ボスはやれと命令し、リーダーはやろうと先導する。」という言葉を聞いて、言葉だけでなく行動にして見せなければいけないということを学びました。私は運動会期間中、バスではなくリーダーになれるよう意識し幹部のみんなと協力して頑張りました。結果は赤組が準優勝で勝つことができませんでしたが、思い出に残る運動会になったので良かったです。

練習を一生懸命頑張ってくれた一、二年生、手の回らない部分を力バーしてくれた三年生、たくさん悩み一緒にみんなを引っ張つてきた幹部、ありがとうございました！



## 運動会から学んだこと

吉田由紀菜

今年の運動会は初の小中合同で行われ、自分が思うようにうまくはいかなかつたけれど、先輩から学んだことはたくさんあつた。例えば、ブロック練習のチームのまとめ方や、教え方などを学ぶことができた。私は二年幹部だつたけれど教え方が今一つわからず三年生が教えつきりになつた場面がいくつもあり、自分がまだ未熟だということを改めて実感した。今年の幹部活動を通して、来年に向けての目標やどのように作つていいかなど例年とは違う運動会でしか学べないことを学ぶことができた。来年はより良いものにしていきたいと思う。



## 運動会の振り返り

佐藤遼河

僕が運動会を振り返り思つたことは、まず皆の運動会に対する気持ちの強さです。他学年同士一致団結し、勝利に向かおうとする姿が表れたことにより、運動会を成功させることができたと思いました。



「運動会、成功するかな？」こんな不安を抱きながら始まつた運動会練習。でもそんな不安を吹き飛ばすくらい明るく堂々とした姿で、私たちを引っ張つていこうとしていた三年生を見て、私の気持ちは不安から楽しみに変化していきました。そして迎えた当日。練習の結果が本番に出て最高の運動会だつたと思います。

来年は、自分たちが最高学年として後輩を引っ張つていかなければなりません。そんな時今年の運動会で学んだことを思い出して、明るく、堂々とした姿で自分たちも何か後輩たちの心に残るような運動会にできたらなと思っています。

## 生まれて初めての運動会

立花真心

## 運動会を終えて

高塚耕汰

運動会を終えてよかったです。二つあります。

一つ目は、優勝できたことです。ブロック練習から、行進やラジオ体操、応援など一生懸命練習して優勝につながったと思います。

二つ目は、組長や幹部の人たちを見て、前に立つ人がどうしなければならないかなどを学ぶことができたことです。人前に立って手本となったり、指示したりするのがすごいと思いました。

来年の運動会は、自分たち二年生が主役となるので、三年生の組長や幹部の人たちを手本としてがんばりたいです。



## 最高の運動会

上野來音



僕が運動会を振り返って一番思い出に残っているのは行進です。なぜなら、練習で隣の人と合っていないなかつたり、腕の振りが小さかつたりして何度も指摘されていた行進が当日みんなきれいにできて一位を取ることができたからです。

次に、僕は運動会を通して大切なことを学びました。それは、いかに練習をしつかりやるかということです。応援の振りがみんなそろつていなかつたりしてたくさん練習をしました。そうしたら完璧な応援にすることができました。

運動会では、勝利をつかむことができました。今回の運動会で学んだことをこれから学校生活にいかしたいと思います。来年は、新一年生も入ってきて自分たちは二年生になるので一年生の手本となるようがんばりたいと思います。

## 泊中最初の行事

新島陽向

ぼくは、運動会当日までにがんばったことと、楽しかったことが一つずつあります。

がんばったことは、入場行進の練習です。腕を九十度まで振る、となりの人と列をそろえる、一定の距離を保つななど、すごく多くのことを意識して、練習しなければいけなかつたので、難しかつたです。

楽しかったことは、幹部会議（応援合戦）です。

最初は、全く演舞を踊れませんでしたが、三年生の幹部の人たちに教えられていくうちに、だんだん演舞が踊れるようになつ

ていつたので、すごく嬉しかつたです。

そして、委員会では、白線が消えるたびに、各学年委員会で白線を引いたり、石拾いなどを

しました。来年はもっと積極的に活動したいです。



## 中学校生活初めての運動会

浅坂頼親

僕は、今年の運動会を振り返ってみて、大変だったことがあります。

一つ目は応援です。理由は、本番から三週間くらい前に練習してみて、最初は何も出来なかつたけれど徐々に出来てきて、本番には白組に勝つことが出来たからです。二つ目は、台風の目です。

理由は、仲間と共に、何度も工夫して、練習を重ねたからです。結果は白組に負けてしまいましたが減点がなかつたので、すっきりした形で終わりました。他にも覚えることがありました。それは、委員会です。今年の運動会で、小学生から中学生になつて仕事の量や、内容が変わり、動くスピードが格段と上がつて大きく違つたと思います。でも、本番までの期間で仕事のスピードや原稿を読む練習をして本番までには、仕事の内容を行えるようになります。今年の運動会のことふまえて来年に生かしたいです。



## 運動会の振り返り

竹内優莉



私はこの運動会を振り返り、私たちにとつて初めてであり、三年生のみなさんにとって最後の運動会は成功して、組長や三年生の幹部のみなさんの近くにいたので大変なことがあつたのを見ていきました。やはり、空気が悪くなつたりしていたときもあつたけれどそれを乗りこえたから成功したと思います。応援合戦のありの練習も初めは全員動きが雑になつたけれど運動会が近づくにつれて、上手になつたので、これも、組長や三年幹部のみなさんが分かりやすく教えてくれたおかげだと思います。自分にとつて中学校初めてであり、三年生のみなさんにとって最後の運動会が、悔いのない、楽しい運動会になつたと思います。来年も、今年のように、楽しい運動会にしたいです。



## 運動会を終えて

加藤隼斗

運動会を振り返り、大切だと思ったことが二つあります。

一つ目は、練習の大切さです。理由は、練習の時、応援合戦の振り付けを教えてもらい家で練習などをして本番にうまくいったからです。

二つ目は、どんな時の種目でも真

剣に取り組まない

です。理由は、真

剣に取り組まない

と十分な力を発揮

することができなくなるので、どんな種目でも全力で走ることが大切だ

と思いました。

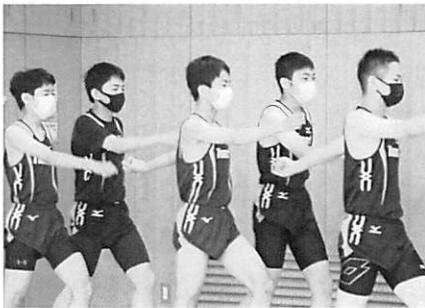
このことを通じて学校生活では、分からぬところや分からなかつたところは、家で練習や復習をしたり先生に聞いたりして真剣に取り組む

ことを意識して生活していくたいです。

# 中体連

## 最後の中体連

館 療 織



中体連夏季大会では今まで練習してきた成果を全力で出し尽くし、思い出に残る中体連にすることができました。僕は、中体連まで県大会出場を目指して頑張つてきました。中体連当日は、風もあまり強くなく、天気も悪くなかったので自分の競技に集中して取り組むことができました。部活動を通して学んだことは、チームをまとめる難しさです。陸上競技部は特に他の部活よりも部員が多かつたためチームを引っ張つて行ったり、まためたりするのが大変でした。今年の中体連は、総合優勝はできませんでしたが、一人一人が自分の競技に一生懸命取り組むことができ、男子総合三位になることができたし、自分も県大会出場を果たすことができましたので、とても良い中体連になつたと思います。

## 中体連を振り返って

佐藤璃空

中体連を通して、僕が学んだ事は、一つあります。

周りを見て行動することです。種目の補助をすることや本部のテントを自分から進んで建てることができました。また、今大会までに僕は、どうやって自己ベストを更新するかやどんな態度で大会に挑むかなどを考えながら普段の練習をしてきました。また、大会当日では、部員全員で種目の補助や大会の片づけなどを自分たちから進んでできました。また、普段の部活動を通して、後輩達の面倒を見たり、自分から進んで手伝う事もできました。僕が学んだことは、高校や社会でも役に立つと思うので、この学んだ事を忘れないように普段から学んだ事を学校生活にも活かしていきたいと思います。

## 中体連に向けて

三國海藍

私が中体連夏季大会に向けて頑張つたことは、二つあります。一つ目は、メンタル強化です。メンタルは試合の中でとても重要なとなるし、勝敗を分ける原因になるのでメンタル強化に努めました。常に一定の力と姿勢で長時間ボールを打ち続けることを意識しました。二つ目は、目標を高く持つて練習に取り組むことです。前までは県大会出場が一番の目標でしたが、ベスト4、三位などより高い目標を立てることでモチベーションを上げて自分を追い込んで練習することが出来ました。また、私は県大会が残つるので県大会でいい結果が出せるよう、地区大会の時より集中力を高めるなど、練習に励みたいと思います。

## 涙の中体連

水戸沙弥香



私が、中体連夏季大会まで取り組んだ練習は、スパイクとカットです。理由は、スパイクは相手への攻撃としては欠かせず、カットは、スパイクに繋げるための基本となるからです。だから、この二つを中心にして練習しました。そして、私たち三年生は今大会で引退となるかもしれないのに、一球一球を集中して取り組みました。結果はセット数二対一で三沢一中に負けてしましましたが、悔いがないくらい全力を尽くすことができました。私が、部活動を通して学んだことは、団結との大切さです。団結することがお互いに気持ちを高めあうこと、支え合うことができるからです。ミスをしてもカバーしてくれたり、励まし合つたりして試合を過ごしました。これからは受検があるので、勉強に取り組んで、新人戦などの大会が近くなつたらチームに貢献できるように頑張ります。

## 最後の中体連

成田 悠 楓



僕は中体連夏季大会を通して学んだことがあります。それは、諦めないことの大切さです。今回の七百中学校との試合で大差をつけられてしまい、心が折れそうになりましたが、しっかりとアウトを取ることが出来たからです。次に声をかけてあげることの大切さです。仲間がエラーをしてしまったときや雰囲気が悪い時に声をかけあつたり、自分がうまくいってない時に先生や仲間に声をかけられて乗り越えることが出来たりしたからです。今回で中体連は終わってしまいましたが、この大会で学校生活や今後の野球人生に生かせることが多々あつたので、しっかりと活用して野球を頑張りたいと思いました。

## 中体連を振り返って

石倉 あかね

私は中体連を振り返って良かった点と改善点が一つずつありました。まず良かった点は、中体連前日に運動部の人達の応援ができたことです。皆喜んでくれて、県大会にも出場できる人がいたことはとても嬉しかったです。改善点は部活中の私語が多かつたことです。私たちは応援へ行くことができなかつたので、コンクールに向けて学校で練習していたのですが個人練習などのとき、私語が目立つていた気がしました。普段の部活動も集中して練習できるような雰囲気づくりなどに励んでいきたいと思いました。

## 中体連を振り返って

中村 彩愛

バレーボール部は、三沢第一中学校と戦いました。結果は負けてしまいましたが一セット勝ち取り三セット目まで行くことが出来ました。この仲間だからこそ出せた結果だと思います。プレー中の雰囲気も今までの試合の中で一番良かったと思うし、声掛けなど仲間のミスを全力でカバーする姿がたくさんありました。ここまで成長させてくれた顧問の小沢先生、本当にありがとうございました。そして、こんな先輩についてきてくれた一年生のみんなありがとうございました。ここまで成長させてくれた声を忘れず、一回一回の練習を大事にして今まで良い泊中バレーボール部をつくりあげてください。応援しています。

## 中体連夏季大会の振り返り

田中 輝星



僕は、中体連夏季大会まで、大会で必ず「自己ベストを更新するぞ、県大会に行くぞ」という気持ちで取り組んでいました。自己ベストは更新出来ませんでしたが、県大会には出場できたのでとても嬉しかったです。また、部活動を通して仲間と一緒に協力する大切さについて学びました。棒高用のマットや高跳び用のマットをみんなで協力しながら運んだときには楽しくて、一緒に遊びました。部活動中も楽しむときは楽しむ、眞面目にやるところは眞面目にやるという感じについても学びました。これからは県大会に向けて跳躍力を強化したり、人間性を高めたりなどして県大会に臨みたいです。そして、県大会が終わったら次は受検に気持ちを切り替え、悔いの残らないような結果にしたいと思いました。

# ビン回収

保坂莉子



ビン回収を終えて「協力すること」と、「地域のために行動すること」の二つの大切さを感じました。私達の区域は及川パンから泊郵便局でした。その区域はビンがたくさんありました。そのビンをみんなで協力して回収できたことがとても良かつたと思います。協力して行つたからこそ、今年は早く終わつたのではないかと思います。

私は地域のために行動することを意識してビン回収を行つてみました。意識することで、自然豊かな泊でもビンが多くて驚きました。いつもは見ることができない「泊」を見ることができたと思います。泊中生の仲をもつと良くする場にもなつたと思います。来年もビン回収に参加して、泊地区内がきれいになればいいなと思います。

## ビン回収の振り返り

三浦凜咲



ビン回収を振り返り、良かったことは二つあります。一つ目は、同じ班で協力できたことです。当日は、霧雨が降つていて、少し寒いと感じました。その少し寒い中でも班の人たちと協力し、最後まで、ビンを回収することができました。班の人達と協力して、ビンを集められたことで、予定よりも早く終わることができたのです。

二つ目は、地域のために行動できたことです。私は、あまり地域の活動に参加していないなかつたので、このビン回収は良い活動になつたと思います。そして、地域のために行動してみて、楽しいなと思いました。これからも、このような活動があつたら、積極的に参加し、地域のために行動したいです。

## ビン回収を振り返って

小野岳人



僕がビン回収で一番うれしかつたことは、ビン回収に参加する人数が増えたことです。僕は今年執行部として、ビン回収全員参加という目標に向けて、呼びかけやなぞなぞ作成など様々な取り組みをしました。去年より多くの参加者を募集することができ、とてもうれしかつたです。また、僕がビン回収で大変だつたことは二つあります。一つ目は皆が集めたビンを色分けしたりすることです。去年は、時間内に終わらなくて時間が多くかかつてしまつたけれど今年は執行部で協力し、時間内に終わらせることが出来てよかったです。二つ目は、みんなが集めたビンを約一時間くらい待つことです。去年は収集場所でずっと待つていたけれど、今年は、今泊中学校から収集場所まで歩いていきとも大変でした。今年執行部で経験したことでも、ビン回収のやり方などを次に生徒会に教えてあげたいと思いました。

## ビン回収を振り返つて

中村彩奈



今年のビン回収はクイズを解きながらだつたので、楽しく活動することができました。また、後輩をもつことによって先輩として分からぬことがあります。活動中は思ったよりもビンが多く、やりがいがありました。クイズを一年生と一緒に解く時間がとても楽しかったです。途中難しい問題があつて悩みましたかが、協力して解くことができました。全体を通して、他学年との交流をすることで委員会の時などの話し合い時にスムーズに進めることができたと思います。次回活動する時は最上級生の三学年になります。三学年として一、二年生を引っ張つていければと思います。



## ボランティア精神

三浦曇梨

今回のビン回収は、ビンを回収するだけでなく、ゴミなども拾つて地域貢献をしました。今までのビン回収よりも過酷だったと思います。しかし、それ以上の達成感と地域に貢献できたという嬉しさがありました。最初はつらいと思つたり、長いと思つたり、マイナスなことしか考えていませんでしたが、ビンを回収し終わつた後、達成感と嬉しさ、喜びというプラスのことしか感じていませんでした。

ボランティアは、とても大変なことでしたが、人を想いながら活動できることは普段の生活でも、その先の事にも役立つと思うので、今回経験したことを忘れず、頑張つていきたいと思います。



僕は、ビン回収をして、ボランティアの大切さを知ることができました。ボランティアをすることにより、「地域に貢献」することができるからです。今年度のビン回収では、各区域にクイズを置いてボランティア活動を盛んにする計画を立てました。その結果、半分以上の生徒が参加してくれました。これからもボランティア活動を楽しんでもらい、「またやりたい」と思えるように企画していくたいと思います。ビン回収当日は、生徒会執行部では、ビン集積所でビンの分別作業を行いました。最初はとてもつらく感じましたが、慣れてくると、仕事を分担して効率良く作業することができました。終わった後は、大きな達成感を味わうことができました。これからも、達成感あふれる仕事をしていきたいと思います。

## ビン回収

三浦悠杜

## 泊中祭を振り返って

吉岡るな

私は泊中祭を振り返って、泊中祭まで学級展示を頑張りました。その中でも一番頑張ったのはオブジェ作りと、みんなの目標を書いたミニポップコーン作りです。ミニポップコーン作りは、完成品の数が足りなくなつて、残り十二個分の型をするのに一番時間がかかりました。大変だったけれど、完成できてよかったです。オブジェ作りは、七十以上の花を作るのが大変でした。少しでも揺らせば花が落下する事も多くて、移動させる時慎重にやりました。出来栄えはとても良かったと思います。そして、合唱ではアルトパートで、同じパート仲間と合わせたりソプラノパートの人たちと一緒に合わせたりしてみて、音を確認していました。本番ではつらされることなく大きな声を出せたので、満足です。また、あと二回泊中祭があるので、そのときは金賞をもらえるような学級制作を作ろうと思いました。



## 泊中祭を振り返って

宮下那結

私は泊中祭を振り返り、良かったところは二つあります。

一つ目は、ちぎり絵です。みんな課題や欠席などで、何日か一人でやっていたので、間に合うか分からませんでしたが、途中から他の担当のメンバーが来てくれたおかげで、なんとか間に合わせることができました。

二つ目は吹奏楽部の合奏です。吹奏楽部には入ったばかりで演奏でかかる分かりませんでしたが、なんとか覚えてみんなでいっしょに吹く事ができました。私はこのように、みんなで協力して物事を取り組む事を学びました。それを生かして、来年の泊中祭に取り組んでいきたいと思いました。



## 泊中祭を終えて

古 畑 力

初めての泊中祭は楽しかったです。最初のオーブニングムービーは爆笑しました。先生方の演技やドラマの再現シーンがおもしろかったです。

ぼくががんばったことは、学級展示部門でのオブジェ作りです。一年生は、ダンボールと、画用紙でポップコーンを作りました。ほかには、花をたくさん作りました。みんなで八十個以上作って大変だつたけれど教室が明るくなりました。



## 泊中祭が終わって

高 梨 晃 亮

泊中祭振り返って印象に残ったことは吹奏楽部の演奏と有志イベントです。吹奏楽部の演奏はハーモニーが綺麗でした。イベントでは三年生のお笑いがおもしろかったです。特にこうたさん、かなたさん、ゆうきさんはやとさんのグループです。「校長先生だったら!」というところがおもしろかったです。合唱は、本番では歌えなかつたけれど、練習では声のトーンなどを意識して、合わせて歌うときによくなりのパートにつられそうになりながらも、しっかりと自分のパートに集中してがんばりました。今度は泊中祭本番の合唱に参加したいです。



## 文化祭の反省

上 野 貴 稔

僕は、初めて文化祭をやつてみて、最初、ちぎり絵で何を作るか迷つて時間がかかり、文化祭の準備期間のたくさんを使つてしましました。だから、間に合うのかなあと少し思つていたけれど、何とか間に合うことが出来たのでよかったです。

文化祭を通して感じたことは、ちぎり絵の絵を決めるのに時間がかかったので計画的に進めてなるべく早くすると、時間に余裕ができるので時間に余裕ができるのでよかったです。



## 泊中祭を通して

長内二二三



私は壁新聞の責任者をしました。一番大きい記事で大変だつたけれど期限に間に合うように頑張りました。初めてで、期限までに完成できるか不安だつたけれど、みんなで協力して間に合わせることができました。直しが少し多かつたけれど、出来ばえはすごく良かったです。展示やちぎり絵などもクオリティーが高くて、すごいなと思いました。合唱では、最初は、みんな声が小さくて音の強弱もあまりありませんでした。本番は、お客さんがいて緊張していたけれど、声も大きく出せて、音の強弱もあってよかったです。それは、これまでの音楽の時間や、帰りの練習を一生懸命したからだと思います。来年も楽しい泊中祭になるように頑張りたいと思いました。

## 泊中祭

野々村優人



## 初めての文化祭

福永一護

泊中祭を振りかえると、大変だつたけれど完成了たときはうれしかったです。一番大変だつたことはちぎり絵です。とくに細かくちぎって紙にはつたことです。ちぎるときは大きい紙を細かくしてそれを色ごとに分け、決められた場所にはる時にサイズを調整しながらはつていきました。初めての泊中祭だつたけれど楽しかったので来年の泊中祭は今年より楽しく作っていきたいです。



初めての泊中祭を通して、最初は自分たちで考えて、自分たちでダンボールなどを使って、一からつくるのは難しそうだし、めんどうくさそうでした。でも、学級展示担当になつた友達と一緒に考えたり、作つたりするのは、楽しかったのです。

合唱は、浦田先生が提案した五個の中から、自分たちで、浦田先生にかなり難しいと言われたものをみんなで選びました。あまり声が出ていないと、言われたくなかったし、完璧に楽譜や音程を覚えるようにしてがんばりました。でも、本番になると少し緊張してしまいあまり声を出すことができませんでした。

来年は、練習から声を出して、本番でも出せるようになります。

## 泊中祭を終えて

橋本貴輝

今回私が泊中祭で担当した仕事は学級展示です。私は巨大オブジェの双子葉類の茎の部分と花作りをやりました。私は去年、学級展示の責任者を行つていたので今年もがんばりました。今年は人手が足りなく、最初の頃は結構遅れたりする事がありましたが。それに加えて、ちぎり絵の人手が全然足りなくて、そっちの方に私が行く事がたびたびありました。でも後半になつてからベースがかなり上がり、ちぎり絵もベースが上がつてからすぐに終了して展示の方の仕事もちぎり絵の方が来てくれてかなり助かりました。

そして合唱。最初の頃はあんまり声が合つていなくて、先生たちからも止められる事がちよくなつた。しかし、練習していくうちにかなりみんなとも、ハモりがよくなり、本当に二日前から「もう完璧」といっても良いくらい上手くなり、結果は本当に大成功！みんなよく頑張ったと思いました。

私は学級展示の責任者を務めました。みんなに指示を出せるか不安だったけど、みんなが自分から積極的にアドバイスをしてくれたので、すごく助かりました。みんなが協力し、大きい作品を二つも作ることが出来たので良かったです。

合唱では、最初の練習の時は、まったく声も聞こえない弱々しい合唱だったけれど、先生たちの声掛けもあり、とてもよく成長したと思います。本番前日のリハーサルでも本番のようになります。活気のある合唱でした。そして本番はそれよりもっとはるかに最高な合唱が出来たと思います。みんなで頑張った思い出になりました。

泊中祭を終えて、みんなで協力し、助け合う心を忘れずこれからも生活していきたいです。



## いろいろあつた文化祭

上野聖加



今年も泊中祭を楽しむことができました。僕は、特に壁新聞をがんばりました。アンケートをとつて集計し、グラフにしました。他にも見出しの文字や背景を書きました。できあがつた部分をきれいにはりつけることもがんばりました。去年よりたくさんの仕事ができてよかったです。壁新聞部門のみんなは、他の人たちの手伝いをできるように短い時間でも集中していました。

合唱では、お客様に褒められるような合唱をめざしてがんばりました。最初は声が小さかつたり、音程がズレていました。

いろんな場所で、合唱の声が聞こえるかどうかためしながら練習することで、だんだん良くなりました。本番は、練習よりも良い合唱になりました。来年は、中学校最後なのであります。今年よりも、もっとと良い合唱にしたいで

## 去年より良くなつたこと

赤石響

## 泊中祭

赤石創真



今年の文化祭で僕はちぎり絵の仕事を担当しました。人手が足りず計画的に進めることができなかつたけれど、学級の皆が手伝ってくれたおかげでギリギリでしたが作品を完成させることができました。去年は学級展示でしたが、初めてのちぎり絵にしては、いい出来ばえだったと思います。

合唱では、最初は、音程を気にしすぎて声をあまり出せませんでしたが、小沢先生のアドバイスや指揮者の遼河君を見てタイミングをつかめるようになりました。本番では、緊張してあまり声を出せなかつたので、来年最後の文化祭では、皆と声を出し合い、思い出に残るような合唱にしたいと思います。

来年の文化祭は、最後の文化祭になるので皆で協力し合いたいと思います。



## 泊中祭を振り返って

能登 麻 凜

私が泊中祭までの期間の中で頑張ったことは、壁新聞の文章を書くことや題名をなぞることと合唱の練習です。

壁新聞の文章を考えることが難しかつたですが、インタビューをしたり、壁新聞の皆さんに相談したりしてよい作品をつくれるように頑張りました。題名をなぞるときには、はみ出しや塗り残しがないようしました。

合唱の練習では、最初は、声が出なく歌詞も覚えていませんでした。けれど、練習を重ねていくうちに、歌詞も覚えて声も出るようになりました。三部合唱なのでハモリの時につられてしまふこともあります。歌うことが出来てよかったです。

私は泊中祭を通して、練習することの大切さと、協力することの大切さを学ぶことが出来ました。来年は最後の文化祭となるので、みんなで楽しんで良い文化祭にしたいです。



今回の文化祭を通して、私は二つのことを思いました。一つ目は、協力することの大切さです。去年までは、部門毎での協力ばかりに目を向けていましたが、今回は、学年全体での協力を目を向けることができました。

二つ目は、最後の文化祭を全力で行えたことです。準備から当日まで全力を注ぎ楽しむことができました。文化祭一日目に行われた合唱では、たくさんの方に集まつていただき、とても嬉しかつたです。そして、最後の合唱になるかもしれないのに、全力を出して歌いきることができます。二日目は演奏披露や、イベントを行いました。演奏披露は、例年と比べて練習時間が短く、私は練習で四曲をノーミスで吹くことができず、緊張しながら当日を向かえましたが、本番ではミスを最小限に抑えることができとてもよかつたです。来年はコロナが収まり、もっと自由な文化祭になつていると嬉しいです。

## 私の軌道

山本 鈴音

## 中学最後の文化祭

上野奏汰



僕は大判ちぎり絵と合唱、イベントに参加しました。

まず、大判ちぎり絵では、限られた少ない期間の中でみんなが協力することによって、すばらしい作品を製作することができました。

次に、イベントです。イベントでは、僕たち「自由にし隊」は最後の大とりを飾りました。なかなか「自由にし隊」メンバーで練習ができませんでした。休日に打ち合わせや練習をし、なんとかやりきりました。でも練習量が足りなく、本番中にハプニングなどが多く起こつてしまつたのですが、それなりに楽しく「自由にし隊」メンバーで文化祭イベントの大とりを飾ることができました。

最後に、合唱では、これも限られた少ない時間の中で、みんなで日々練習し、先生方の協力もあり、親を感じさせてることができたので、とても思い出に深く残り、楽しい文化祭でした。



## 永遠の思い出に残る泊中祭

田中耀星

僕は今年の泊中祭は大成功に終わったのではないかと思います。僕が担当した大判ちぎり絵で金賞を取れたのです。人生で初めてちぎり絵を作りましたが、細かくちぎったりする作業で意外と大変でした。出来映えはとても良かつたです。

合唱では、練習の時は歌詞などを見ながらでないと歌えませんでしたが、それから練習を重ねていくにつれて音程も歌詞も覚えることができました。本番もいい合唱を届けられたのでとても満足です。

僕はイベントにも出ました。初めてイベントに出たので本番当日は、とても緊張していました。けれども、恥ずかしがらずにやり遂げることができたので嬉しかったです。三年間とも短縮した形での泊中祭となりましたが、とてもいい思い出になりました。来年度も後輩のみなさんは盛り上げていってください！



私が泊中祭を終えて学んだことは、仲間と協力し合うことの大切さです。大判ちぎり絵制作では、班のみんなと意思が分かれてしまふこともあります。話し合いで出来栄えや制作する際の苦労を考え、みんなが納得いく形で進めることが出来ました。制作途中に苦労しながらも、最終的に、個人的にはいい作品が完成しました。結果は、学級展示、壁新聞とともに金賞をとることができ、本当に金賞をとったことがあります。

## 泊中祭を振り返って

藤村梨愛

## 泊中祭を振りかえつて

上野愛夏

私が泊中祭を振り返って学んだことは二つあります。

一つ目は、仲間と協力することの大切さです。ちぎり絵は細かくちぎるほど時間がかかるのでクリティイが劣ってしまうかも知れませんが、メンバーのみんなで協力して提出日までに提出することが出来たので良かったです。

二つ目は、自主性です。私は普段の授業で先生にあてられない限り発表をすることがないので文化祭のイベントを通して少しでも自分から発表や挨拶などが出来る回数が増えるといいなと思います。

この学んだ二つのことを普段の学校生活にいかしていくように心がけたいと思います。



## 泊中祭を終えて

村畠皓大

僕は泊中祭を終えて、イベントで全校生徒を楽しませることができたと思いますが、後悔していることが二つあります。

一つ目はイベントの本番のときに歌の歌詞を忘れたことです。理由は朝まで覚えていたのですが、自分の番になつた時に緊張して歌詞を忘れてしまったからです。とても悔しいです。

二つ目は大判ちぎり絵です。理由は、貼る作業よりもちぎる作業に専念してしまい、貼る作業の方に協力できなかつたからです。しかし、立派な作品を作り上げることができたと思います。今年が最後の泊中祭だったので、最後に後悔してしまつたことが悲しいです。



## 泊中祭を終えて

滝口菜花

泊中祭では、壁新聞部門を担当しました。今年で三年目となる壁新聞だったのに気が入つていました。結果は金賞と嬉しい結果になりました。

活動期間は、同じ部門同士で助言し合い、自分の担当以外の記事や見出しなどを協力し合つて作業を行いました。途中、意見の食い違いなどがありましたが、最後にはみんなでより良い作品を仕上げることができたので良かったです。合唱は、パート練習に力を入れました。難しい音程の曲だったので、同じパート仲間と音取りを沢山しました。本番も今までの練習を含めて、一番いい合唱ができたのではないかなと思います。泊中祭を終えて私は、改めて仲間と協力することの大切さを実感しました。一人でできないこともみんなで協力することでできるようになることを感じました。これからも一人だけで解決しようとせず、みんなで協力して、物事を作り上げていこうと思います。



# 職場体験学習

## 職場体験を通して

赤 石 雄 悟

僕が職場体験を通して大切だと思ったことは、説明している人の話をしつかり聞くことです。仕事は大変で難しいことばかりなので話をしつかり聞くことが大切だと思いました。

職場体験先の泊クリーニングでは、アイロンのかけ方、服の正しいたみ方などを知ることができたので普段の生活に生かしたいと思いました。また、社会人としての常識を学ぶことができたので良かったです。

職場体験の日まで楽しいことばかりだと思っていましたが、実際に

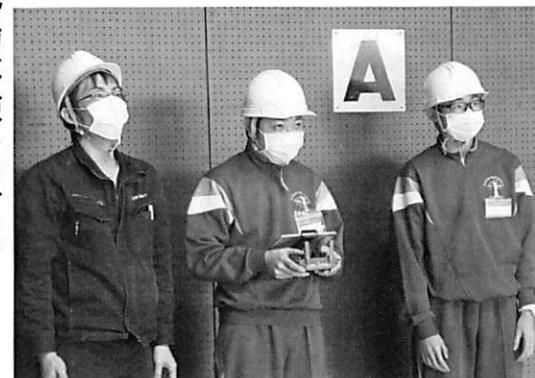
体験してみて、樂しいことと、大変なことがたくさんあつたので、メリハリが大切と感じました。

今回の職場体験学習を通して、話をしつかり聞くこと、メリハリをつけることは学校生活でも大切なことなので学んだ事をいかしていきたいと思いました。



## 職場体験を通して

浅 井 莉 空



僕が、職場体験学習を通して、学んだことは二つあります。一つ目は、話をしつかり聞くことです。話をしつかり聞いていないと、任されていました。仕事の内容を把握しきれなく、職場の方々に話を聞いていないと思われ、失礼になるからです。二つ目は、一つ一つの作業を丁寧に行うことです。仕事は必ず誰かのためになっていることなので、一つ一つの作業にしつかりと責任をもち、行動していくと思いました。職場体験を通して、社会に出るうえで大切なことを学べたので、これらの学校生活でも、これらのことを行って生きたいと思います。



## 職場体験

田中望愛



私が職場体験を通して学んだことは二つあります。一つ目は人に物事を教えることの難しさです。学年が上がるごとに、教え方を工夫していないと、相手にしつかりと教えてあげることが難しいということが分かりました。二つ目は、「言葉遣い」です。私は小学生と話しているときに、友達のように話してしまっていて、「言葉遣い」の切り替えができるいませんでした。しかし、小学校の先生方の児童への接し方や、「言葉遣い」などを見て、自分が今まで使っていた言葉遣いを改めることができました。

私は、このような体験は初めてでしたが、小学校も充実した二日間になりました。職場体験で学んだことを、これからの中学生生活や面接などでいかしていきたいと思います。

## 職場体験学習を通して

野田麗華



私は職場体験学習で環境科学技術研究所に行き、学んだ事が二つあります。

一つ目は責任感です。私は二日目に点検作業をやらせてもらいました。現場では仕事をする人はちは声を出し合い、みんなで責任をもつて仕事を取り組んでいました。二つ目は、態度です。仕事をしている人はみんなハキハキしていてテキパキ動ける人が多かったです。私たちに積極的に優しく教えてくれました。

この二つをどう学校生活にいかしていくかというと、クラスの仕事に対する責任感をもち、積極的に授業に取り組む(主に発表)という形でいかしていきたいと思いました。

私の一番の思い出はネズミの解剖を見たことです。丁寧に説明してくれたり、私が疑問に思ったことなどに対しても素早く教えてくれました。とても楽しい職場体験学習になりました。



# 一年生修学旅行

楽しかった修学旅行

吉田由紀菜

修学旅行の思い出

古川奏太

## 修学旅行の思い出

館花未樹

僕の修学旅行での思い出は三つあります。一つ目は、岩手サファリパークに行つたことです。サ

私が修学旅行で思い出に残つたことは、岩手サファリパークと宮沢賢治童話村です。岩手サファリパークでは、みんなでバスに乗り、えさやりをするのが楽しかつたです。ライオンやチーターなど普段見ることのできない動物を見ることが出でていい思い出になりました。宮沢賢治童話村では、あまり宮沢賢治を知らない私でも楽しめるくらい面白い場所で、世界観に感動しました。

たくさん制限のある修学旅行だつたけれど、岩手の方や先生方が協力してくれたおかげで、三日間、新しい発見や体験をすることができました。沢山の人達に感謝の気持ちをもつてこれから学校生活を過ごしていきたいです。また、協力することの大切さを改めて知ることが出来ました。思い出行に残る修学旅行に残ることが出たのです。



## 修学旅行の思い出

宮澤泰知

僕の修学旅行での思い出は三つあります。一つ目は、岩手サファリパークに行つたことです。サ



僕の修学旅行の思い出は、二つあります。一つ目は、猊鼻渓で舟下りをしたことです。なぜなら、いつもと違う風景を見ることや生き物と触れ合うことが出来たからです。

二つ目は、わんこそば体験をしたことです。子と先生でどれだけ食べられるか勝負をしました。初めてやつてみましたが、目標の百杯食べられるようにならなければなりません。

また、学んだことは、みんなと協力して物事を進める、時間通りに行動することの大切さです。この学んだことを生かして、二分前には席に座つていていたいです。

今年度はコロナ渦での修学旅行のため、例年よりも制限が多い修学旅行となつた。まず行き先が変更になり、移動中のバスの中も話すのは禁止など、なかなかおもうように動くことはできなかつた。でもコロナ渦だからこそその利点もあつた。旅行先の岩手の知らなかつたことを知つて新しい考え方や方をするようになつたり、友人どうしの交流や親睦を深めるなど、コロナ渦だからこそ楽しめるくらい面白い場所で、世界観に感動しました。

そしてこの修学旅行で、まわりの方々に改めて感謝の気持ちを思ふようになりました。修学旅行は、旅費をはらってくれた家族、計画を立ててくださった旅行会社、クラスを支えてくれた先生など、たくさんの人たちのおかげで思い出に残るものになりました。私にはたくさんの感謝があつた。この気持ちを忘れずには、今後の学校生活に生かしていきたい。

## 修学旅行の思い出

三 浦 巧 真



僕の修学旅行の思い出は三つあります。まず一つ目は岩手サファリパークで色々な動物を見たことです。バスの中で、自分が見たことのない動物を見ることが出来たり、餌やりをすることが出来ました。ライオンやシマウマ、ラマなどを見ることができ、ラマなどに餌やりが出来て楽しかったです。また来たいと思いました。二つ目は、わんこそばを食べたことです。僕は九十六杯食べました。ほかの友達は百杯以上食べていたので僕も百杯食べたかったです。三つ目は、ホテルで色々な遊びをしたことです。友達とランプをしたり、面白いテレビを見ながら、修学旅行の夜を過ごしていました。また岩手に行きたいと思いました。



## 修学旅行を振り返って

小 田 楓 牙

僕が修学旅行で思い出に残ったのは、二つあります。一つ目は、ホテルでやつたウノです。ホテルの着替え後の時間や、お風呂上がりの後の時間にウノをしました。ウノは、特別なルールもありました。僕は、一日目の時、四位か五位しか取れなくないつもみんな抜けたときは、十～二十枚くらいいになつていました。二日目は、一位か二位が多かったです。ホテルでとても盛り上がつたので良かったです。

二つ目は、買い物です。お土産で何にしようか悩んだけど、いろんな人にお土産を買ってよかつたです。何を買うか選んでいた時が一番楽しかったです。この修学旅行で失敗したことも楽しかったこともあります。いい修学旅行になつたと思います。



私は、今回修学旅行の準備を皆で進めていると同時に宿泊学習と修学旅行の両方で忘れ物や失くすことなく無事に帰つてくることができ、安心しました。私が修学旅行で一番印象に残っていることは、宮沢賢治記念館です。大好きな童話や寓話の原稿や、生前に出した本や手帳の複製などを見られて、貴重な体験をすることが出来ました。また、朝・昼・晩の食事も、大好きな友達と一緒に食べているせいか、とてもおいしく感じました。ふるさと村や宮沢賢治童話村などで、友達と綺麗な景色を共有できることは、一生忘れない思い出になると思います。

今回、修学旅行で学んだことや、初めて知ったことを、今後の学校生活に生かしていきたいです。

## 忘れられない修学旅行

濱 飯 美 柏

# 学級紹介



## 一年A組

クラスの課題と来年に向けて

成長を感じた一年

一年A組室長 種市誠大

一年A組学級担任 佐藤章子

僕たちのクラスは、反応が少ないクラスだと思います。

そのため学年委員会で、反応を重点的な目標に設定しました。他にも、右側通行しているかをチェックするキャンペーンや、あいさつ運動、忘れ物無くそうキャンペーンなども行いました。キャンペーンは運営する側だけが頑張れば成功するものではないし、逆にキャンペーンに参加する人だけが頑張れば、成功するものでもないと思います。だから、みんなが頑張つて少しでも良くなつた時を成功とうと思います。

来年は、僕たちに後輩ができるので、さらに右側通行の徹底や反応の強化を頑張りたいと思います。そのためにも、みんなが楽しく頑張れるキャンペーンをたくさん計画して、来年きた人たちの手本となれるようなクラスをつくりたいです。

四月のある休日に学校に来ると、校庭のプランコを元気にこいで、楽しそうにしている生徒たちがいた。「あつちにもいますよ。」と言われ、指さす方を見ると、部室の建物の陰に隠れ、ひょっこりと顔を出す生徒たちがいた。体力をつけるために走り込みと筋力トレーニングをするために来たと言う。しっかりと受け答えができ、かわいらしい笑顔を見せる生徒たちを見て、これから始まる一年間に期待が膨らんだ。

入学から九ヶ月が経ち、中学校の授業についていくこと、学習と部活動との両立、学級の課題をみんなで解決することなど、様々なことに挑戦してきた。時には、あきらめたくなることやうまくいかなくて悩んだこともあつたが、挑戦から得る経験の分だけ確実に成長している。

目の前のこと一生懸命に取り組む真剣な顔も、休み時間に見せる、四月と同じかわいらしい笑顔も、見ていると、君たちの成長を感じ、嬉しい気持ちになる。三学期も、そして来年度も、君たちのさらなる成長を願っている。一年間ありがとうございました。



# 二年A組

## 二学年の成長

今年一年、何できた？

二年A組室長 瀬川一樺

二年A組学級担任 小沢拓也



二学年の成長したところは、二つあります。一つ目は、忘れ物が少なくなったことです。まだ0ではありませんが、一人や二人に減ってきました。

一人一人の意識で直せたと思います。二つ目は、二分前着席が良くなつたことです。前までは誰かが呼びかけないと座つていませんでしたが、今では皆が時計を見て二分前に着席することができました。来年、私たちは三年生に進級し、受検生になります。後悔しないように今から少し勉強してクラスの皆で過ごせるようにけじめをしっかりとして来年も頑張ろうと思います。

今年一年、君たちはどんな成長を遂げましたか？この質問をして、答えられる人が何人いるでしょうか。

今年の君たちの成長を、客観的に評価してくれた心に残っている言葉は、校長先生からの「今まで参加した修学旅行の中で、一番落ち着いた修学旅行でした。」という言葉です。この言葉に、君たちの成長の全てが詰まっていると感じ、とてもうれしく感じました。

現地の方への元気な挨拶、ホテルを出るときの整理整頓、入念なチェックで忘れ物0、集合時間に遅れる人は一人もいませんでしたね。これだけのことを、君たちはできるようになっています。

だからもっと自信をもて。

君たちは今までで一番楽しい学年だ。

来年は自信をもって、最後の一年間をしめくくろうぜ。



# 三年A組

やるつきやない！三年生

「さすが、三年生！」

三年A組室長 古 畑 友 来

三年A組学級担任 松 橋 主 稔



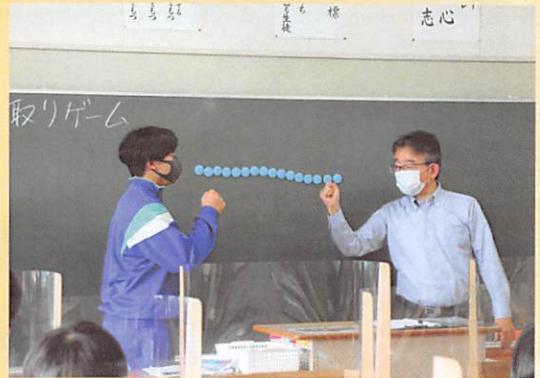
私たちの課題は、二つあります。一つ目は授業と休み時間の切り替えです。授業が始まるまで私語をしていたり、泊中スタンダードである二分前着席後のワークなどを行っている人も三分の二くらいしかいなく、全員ができるに至ったからです。二つ目は、提出期限ギリギリに提出することがあることです。これから、受検に関するものの中提出が多くなってきます。そのため一日でも遅れると支障をきたすので、早めに提出することを心がけていこうと思います。

次に、三学年の成長したことは、団結力です。

今年受検ということもあります。勉強に対するアラスでの人への接し方がよくなり団結力が高まりました。これからますます勉強に追われると思いますが、最後の最後でケンカせずに楽しく卒業できることを願っています。

「勉強でも、学校生活でも、部活動でも、さすが三年生と言われる一年間にしよう。」と最初の学活で話してスタートした四月。本当にバタバタと多忙だった一年であった。修学旅行から始まり、運動会、中体連、泊中祭、職場体験と様々な場面で三年生の成長を感じられた。修学旅行と運動会の打合せをしたり、泊中祭と職場体験の準備をしたりと疾風怒濤の日程の中で、同時進行しながらでも最後までやり切ることができた。泊中の心を一つに団結させた壮行式の選手宣誓。イベントで大いに会場を盛り上げることができた。多くの人に認めてもらい、さすが三年生と思える部分は、この文章のみでは伝えきれない程ある。ただ、確実に言えることは、この一年間で大きな成長を遂げたということである。

これから社会に出て、たくさんの困難なことにぶつかるだろう。でもそんな中でも「さすが、○〇だね」と言つてもらえるように、自分だけでなく周りのためにも尽力できる人財になつてほしいと思う。



# 『先生方のよこがお』

## ～図書委員会からの質問～

- ①マイブームは何ですか？
- ②今の職業に就いていなかったら、何をしていたと思いますか？または、今の職業の他になりたかったものは何ですか？
- ③卒業生へ贈る言葉をお願いします。



教務主任  
中居 剛



教頭  
羽内 一将



校長  
田畠 信

①2つあります。一つ目は、毎週一回の洗車。や潮風の影響を洗い流すこと。  
②考古学者（遺跡発見を通じて、古代の人たちの生活を解明したいと思っていました）  
③卒業おめでとうございます。

①金魚とメダカとエビの飼育  
②考古学者（遺跡発見を通じて、古代の人たちの生活を解明したいと思っていました）  
③大人社会を明るく楽しく過ごすために、「人とのつながり」を大切にしてください。人とのより良い関係づくりは、「give and take」です。「お互い様」という気持ちを大切にした人生を歩んでください。

①小学校低学年のころから五十年くらい、阪神タイガースがマイブームです。今年は、あともう少しのところ優勝を逃しましたが、最後の最後まで楽しめたシーズンでした。来年こそは優勝を。  
②小学生のころは、プロ野球の選手か新幹線の運転手になりました。高校に行つてからも頑張ってください。そしてたまには、中学校にも遊びに来てください。  
③卒業おめでとうございます。皆さん、最高学年として全校を引っ張るとともに、小学生の見本にもなることができます。高校に行つてからも頑張ってください。そしてたまには、中学校にも遊びに来てください。



3学年所属  
武久雄哉

（①）映画鑑賞もしくは監視する側ではなく、捕まえる側の警察官。  
（②）務官。結果は後から必ずついてくる！だからなんでも一所懸命はつてみてください。一所懸命やつている姿は、周囲の誰かが必ず見ていています。そしていつかそれが認められ、新たなチャンスにつながります。そこで頑張れば、次の方にチャンスにもつながります。そして必ずいい結果が訪れるはずです。こういった結果を願つています。樂しい一年間を先の皆さんがかります。そして卒業おめでとう！そして卒業おめでとう！



3学年所属  
高橋清華

①フルーツシロップ作り。レモンやキウイなどで作つ  
りませんが、作って満足するタイプで、まったく減  
りません。・・・  
②小さな子供も大好きだったので、保育士になりたかつ  
てです。卒業のおめでとうございます。みなさんとどんなど  
うになる出で、今からとも楽しめます。こ  
ちらは会う人々や起きた出来事によつて、さらには困  
難なことがあります。どうしよう。どんな困難があつ  
ても乗り越えられない壁はその人に与えられやすい  
ことです。今までよりもっと楽しく、美しく、優しい  
素敵になつりました。みなさんにまた会えることを樂  
しみにしています。



3学年担任  
松橋主税



3学年主任  
中野かおり

①「社会貢献だー！」と自分に言い聞かせながら行う、  
②ストレス解消のためのボチボチ祭！？  
③請求書が来たときに、目が覚める：？？

④旅なら、今でも虎視眈々と狙っている

⑤「一期一会」

⑥これから多くの人と出会うと思いませんが、出会いの瞬間に必ずも、出会った人たちも大事にしてください。

⑦必ず事に思つて、いつが来るかわかつて、皆さんは大宝物です。

⑧過ごしてきました3年間は、私にとって大事な宝物です。



2学年所属  
松山美鈴

①布集め（かわいい布があると買ってしまつ…）  
②今のお仕事に就いていなかつたら、学校支援員を続け  
ていたと思つ。  
③あつという間の2年間でした。これからのお仕事  
もあつという間です。時間は有限。大切に使ってく  
ださい。



2学年所属

① アメリカの企業や経済について調べること。  
② 犯罪の発生原因を減らし、難事件を解決に導く犯罪心理分析官（プロファイラー）※アメリカの職名。  
③ 人生はどんどん長くなっています。また、変化のスピードも速くなっています。今までにない新しい生き方を模索しながら充実した未来を歩んでほしいと思いません。そのためには、一人で考える時間も大事にしてください。強く、しなやかに生きてください。



2学年担任  
小沢拓也

①ユーチューブでたまたま見つけた赤ちゃんの成長を見守ること。「アヤトの育児」という動画

②万銀事屋（「ようすや」）

③泊中で3年間、学校で転勤してきて、出会えたのが君たちでした。また、授業はそれ以外の時間で、学校での日々をより楽しくしてくれてありがとう。卒業後は、更にいろいろな人を楽しめて、そして、誰よりも楽しい人生を歩んでね。



2学年主任  
梅原毅

①釣りとファイギュア（鬼滅の刃他）のコレクション、  
そして時々スポーツ

②日本料理とか、創作料理の料理人になっていたら・・・  
？と最近思いはじめました。笑

③小学校時代はスキーのデモンスト레이ター、中学  
校時代は生徒に物事をはっきりと伝えることがで  
きる先生になりました。

人として人に傷つき、人として  
人と別れて  
・・迷ったのです。  
・それでも、人しか愛せない

（人として）海援隊より

卒業おめでとう！！！

逆境にくじけることなく、1歩1歩前進をしてくだ  
さい。またまにぬかるんだ道もあるけど、それもまた  
いい。また、どこかで会いましょう！



1学年所属  
浦田信子



1学年所属  
田嶋啓太



1学年担任  
佐藤章子



1学年主任  
平館祐一

①今では和3月20日に生まれた子供の写真や動画を見ることがあります。②「相棒」を見ると警察官になりましたが、たまに中学生になると、お風呂で奮闘しています。③君たちは泊中を変えてくれた素晴らしい1年でした。(君たちがどう思つていいかはわかりません)④私が、身長が伸びて、断念しました。⑤君たちは、国語の授業もやつぱり楽しめたかったです。(君たちがどう思つていいかはわかりません)⑥君たちは、力強く、しなやかに楽しい人生を作り上げて頑っています。

①ある生徒の三行日記に描かれているアニメのキャラクターを当てること。  
②海外に移住。  
③笑顔を絶やさず前へ進んでください。卒業おめでとうございます。

①ある生徒の三行日記に描かれているアニメのキャラクターを当てること。  
②海外に移住。  
③笑顔を絶やさず前へ進んでください。卒業おめでとうございます。

①ユーチューブの動画を参考に、食べたことのない料理。ユーチューブの動画を参考に、食べたことがあります。②「相棒」を見ると、警官になりましたが、たまに中学生になると、お風呂で奮闘しています。③君たちは泊中を変えてくれた素晴らしい1年でした。(君たちがどう思つていいかはわかりません)④君たちは、国語の授業もやつぱり楽しめたかったです。(君たちがどう思つていいかはわかりません)⑤君たちは、力強く、しなやかに楽しい人生を作り上げて頑っています。



用務員

市島宏美

①金魚の飼育。4匹の金魚を飼っています。名前は全員「金ちゃん」です。②高保育士をやっていたから・・・。③高校生までは保育士になるんだろうと思つています。④伝統工芸職人に興味がありました。⑤ご卒業おめでとうございます。⑥ご卒業おめでとうございます。⑦前向きに！人には謙虚に！素敵なお大人になつて物皆ございました。

主事

沢田緋里

ALT

サララネッテ ブランソン

①スマホのリズムゲームです。☆4が出ないです。②事務のお仕事が好きなので、どこかで事務しているのかなあ③和菓子が好きだから和菓子職人とか、パンが好きだからパン屋さんとかいいついぱりました！(笑)④三年間あつていい間でいいあります。皆さんにとつて心に残る思い出が出来ていいなと思います。これから先、応援など挑戦をしていきたいなと思います。これから先、支援していきます！卒業おめでとうございます

学習支援員

春千間

①朝はパン・・・。食パンに何かをのせて焼く？を楽しめます。②サークス団員で空中曲芸のブランコ乗りか、京都で舞妓さん

③失敗する事を恐れずに挑戦し前進せよ!!

養護教諭

久野真澄

①雪かきの後にストーブの前で、暖かい飲み物を飲むこと②薬剤師さんを目指していました。③中学生は成長が早くあります。でも頼りになる3年生で、この1年たくさん助けてもらいました。ありがとうございました。ありがとうございます。④他人のことややれる優しい皆さんですが、自分の心を大切にして、これからも元気に過ごしてください。

# 栄光の記録

令和4年2月10日  
現在

▼第67回全日本中学校通信陸上競技大会青森大会  
(7月3・4日)

• 共通男子走幅跳

第4位 古泊 悠季  
第6位 奏太

## 運動競技の部

※昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により、中体連新人大会を含め、中止となつた大会あり。

▼第72回青森県中学校体育大会夏季大会  
(7月17日)  
・共通男子棒高跳 第3位 館

•女子立三段跳

第4位  
保坂  
莉子

【陸上競技部】

(6月19・20日)

▼令和3年度東北中学校体育大会

・共通女子走高跳 第2位 能登葵

【卓球部】  
第72回上北地方中学校体育大会夏季大会  
(6月19日)

## 文化の部

▼青森県吹奏楽コンクール第41回中央地区大会

第41回中央地区大会

**【吹奏楽部】**  
**▼青森県吹奏楽コンクール第41回中央地区大会**  
**（7月10日）**

吉田由紀菜、南川 美優、浅坂 賴親  
竹内 優莉、宮下 那結、吉岡 るな

▼青森県アンサンブルコンテスト（12月12日）

第41回上北地区大会

・サキソフォン四重奏

銅賞 小田 楓牙

銅賞 浅坂 賴親

銅賞 竹内 優莉

銅賞 宮下 那結

銅賞 吉田由紀菜

銅賞 南川 美優

銅賞 吉岡 るな

・木管三重奏

銅賞 吉田由紀菜

銅賞 浅坂 賴親

銅賞 竹内 優莉

銅賞 宮下 那結

銅賞 吉田由紀菜

銅賞 南川 美優

各種大会・コンクール

▼第9回北地区中学校英語弁論大会（8月26日）

・1年暗唱の部

第3位 保坂 莉子

第4位 吉田由紀菜

第4位 滝口 菜花

第2位 三浦 悠杜

第2位 佐藤 古畑

第2位 佐藤 克哉

第2位 山本 彩奈

第2位 鈴音 濱飯

第2位 新島 陽向

第2位 稲村 誠大

第2位 上野 貴穂

▼令和3年度 六ヶ所村学校保健会

・歯・口の健康児童生徒審査会

優秀賞 能登 葵

努力賞 上野 來音

努力賞 新島 陽向

努力賞 稲村 誠大

努力賞 上野 貴穂

各種検定合格者

▼令和3年度六ヶ所村納税作品（11月1日）

・作文の部

金賞 佐藤 克哉

銀賞 種市 準二級 濱飯 美柑

佳作 成田 深規

・三級 立花 真心 赤石

橋本 凰飛 藤村 莉瑚

吉田 美月 上野 梨愛

能登 友暉 聖加

・習字の部

銅賞 吉田由紀菜 石倉あかね 中川 赤石

橋本 凰飛 藤村 莉瑚

吉田 美月 上野 梨愛

能登 友暉 聖加

健康の部

▼令和3年度 六ヶ所村学校保健会

・歯・口の健康児童生徒審査会

優秀賞 能登 葵

努力賞 上野 來音

努力賞 新島 陽向

努力賞 稲村 誠大

努力賞 上野 貴穂

▼日本漢字能力検定

・準二級 濱飯 美柑

・三級 立花 真心 赤石

・四級 吉田 美月 上野 梨愛

能登 友暉 聖加

▼実用英語技能検定

・準2級

1次 吉田由紀菜

高塚 耕汰 佐藤 克哉

古泊 悠季

保坂 莉子 三浦 真心

宮澤 泰知 能登 麻凜

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

石倉あかね 中川 赤石

立花 真心 中村 彩奈

濱飯 美柑 赤石 梨愛

▼保健思想普及標語コンクール

・3級 種市 誠大・古泊 深規

・4級 小田 楓牙 創真

5級 赤石 岳人・中村 彩奈

1次 赤石 岳人・中村 彩奈

4級 小田 楓牙 創真

3級 種市 誠大・古泊 深規

2級 上野 來音、橋本 貴輝・上野 聖加

1級 種市 誠大・古泊 深規

銀賞 種市 誠大・古泊 深規

銅賞 上野 來音、橋本 貴輝・上野 聖加

銅賞 赤石 岳人・中村 彩奈

## 編集後記

みなさんの原稿作成のご協力のおかげで、今年度も生徒会誌「かこ舟」を発行することができました。図書委員会では、原稿内容の企画、原稿依頼、原稿入力などをがんばりました。みんなが期日通りに原稿を提出してくださいましたおかげで、計画通りに進めることができました。まだまだコロナウイルスの影響で、行事が中止になつたり縮小になつたりしています。早くコロナ禍が収まり、精一杯活動できることを願っています。そして、「かこ舟」もさらに充実したものにしていきたいと思っています。

図書委員会

### 図書委員会

委員長 浅井 莉空  
副委員長 藤村 梨愛  
能登 友暉

上野 愛夏  
小田 楓牙

坂本百合彩

濱飯 美柑  
高梨 晃亮  
野々村優人  
福永 一護  
古畑 力

## ■ 泊中学校「かこ舟」 第53号

編集・発行 泊中学校図書委員会 / 発行日 令和4年3月10日

印刷所 社会福祉法人 至誠会 誠幸園印刷指導所  
十和田市大字三木木字稻吉121の567 ☎0176-23-2465  
E-mail seikouen-print@shiseikai-1960.or.jp

